

子育て、親子支援

1 中央公民館

親子陶芸教室

(1) ねらい

- ①夏休みの就学児童たちが家族で過ごす時間が多くなる時期に、児童と保護者がコミュニケーションを図る機会とする。
- ②同年代の児童や保護者同士の交流を図る。
- ③陶芸を体験することにより、親子が共に楽しみ、学び、創造する喜びを知ってもらう機会とする

(2) 対象等

夏休みに親子で楽しめる陶芸教室を、中央公民館利用団体連絡協議会に加盟している土の会、陶楽会の会員が講師となり開催。

対象：市内在住の小学校1～6年生の児童とその保護者

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬語略)	組数
1	7/28(金) 10:00～12:00	粘土で形を作ろう	実習	土の会、陶楽会	15組 30名
2	8/8(火) 10:00～12:00	釉薬で色を付けよう	実習	土の会、陶楽会	14組 28名

(4) 評価と反省

本講座は、中央公民館で活動している陶芸団体の方々が講師を務めていることから、公民館利用団体による学習の還元が図られる講座となっている。

4年ぶりの開催であったが、夏休み中なので参加者は出来上がった作品を工作の宿題とするため、定員が16組のところ52組の応募があり人気の講座となった。

講座の内容として、陶芸用粘土で形を作り、釉薬で色を付ける工程など二日間に分けて行っているが、時間や手間をかけた分、出来上がった作品に愛着を持ち、創造する喜びを体験できたと考える。



陶芸用粘土で形を作る



釉薬塗の作業

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP)

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親を対象に、子どもとの関わり方を学ぶ。
- ②母親同士が仲間をつくって悩みを話し合うことで、子育ての不安を解消し、親として成長する。

(2) 対象等

市内在住の生後2か月から5か月の第1子とその母親

(3) 内容 (中央公民館実施)

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
9/6 (水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いに知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	こども支 援課 BPファ シリ テーター	1 3組 2 6名
9/13 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			1 2組 2 4名
9/20 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			1 2組 2 4名
9/27 (水) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			1 2組 2 4名

(4) 評価と反省 (中央公民館実施分)

第一子を育てている母親が同じような月齢の子を持つ仲間と気軽に交流することで、育児の不安や悩みを解消する場となっている。

回を重ねるごとに親しくなっていく様子が見られ、参加者の感想で、「子育て仲間がたくさんできて嬉しかった」「近い月齢の子のママたちに出会えて本当に良かった」「子育てに対して考える場や情報共有ができたので、参加してよかった」等、満足感ある感想が得られ、ベビープログラムが終了できた。

その後、参加者が団体登録をして毎月中央公民館を利用し、情報交換等をしている。



(3) 内容 (第四コミセン共催)

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1/16 (火) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いに知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	こども支援課 BPファシリテーター	10組 20名
1/23 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			14組 28名
1/30 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			13組 26名
2/14 (水) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			10組 20名

(4) 評価と反省 (第四コミセン実施分)

第4回目の2月6日(火)が雪だったため、14日(水)に延期して開催した。

急な延期での開催だったにもかかわらず、欠席者は4組、10組で開催できた。

講座の終わりに参加者の感想を述べていただいた。その中で、「月齢の近い子どものママと話ができて、刺激を受ける機会が出来て良かった。」「はじめましての人と大人になって話をする機会がなかったので新鮮だった」「初めての子育てで不安でしたが皆と同じように悩んでいるのがわかり良かった」等、満足感ある感想が得られ、ベビープログラムが終了できた。こども支援課の2名の保健師さんにも感謝したい。

前回の参加者と同様に、今回の参加者も第四コミセンに団体登録して、定期的に集まることを計画している。



抱っこひもdeフィットネス

(1) ねらい

①核家族化や地域とのつながりの希薄化により、集う機会が減っている同世代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。

②子育てにおける不安の解消やリラックスできる場を提供する。

(2) 対象

市内の首の座った赤ちゃんとその保護者 10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/6 (月) 10:00~11:30	子どもとスキンシップをとりながら、子育て中の保護者の心身をリフレッシュするフィットネス	講義 実技	フィットネストレーナー 桑原 一美	7組 14名
2	11/13 (月) 10:00~11:30				7組 14名

(4) 評価と反省

産後の不調を感じているお母さんにリフレッシュしてもらう機会を作る為本講座を設定した。

赤ちゃんを抱っこ紐で抱っこしながらのフィットネスで、思ったよりもきつ

い運動にも関わらず皆、楽しそうに参加していた。後半にヨガもあり、自分の体を見直すいい機会になったのではと思った。



親子で楽しむピアノコンサート

(1) ねらい

①核家族化や地域とのつながりの希薄化により、集う機会が減っている同世代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。

②ピアニストの講師を迎えて、親子がともに楽しみ、子育てにおける不安の解消やリラックスできる場を提供する。

(2) 対象等

対象：市内在住の0才から5才頃までの小学校入学前の子どもをもつ保護者と子ども50組程度（合計で150名程度）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	12/23 (土) 13:30~14:30	親子で楽しむピアノコンサート～クラシックに親しもう～	講義 実技	講師 ピアニスト 岡村 梨奈 たこさんのおはなしや 田子 智代（読み聞かせ）	41組 127名

(4) 評価と反省

申込者120組（大人222名、子ども180名、合計402名）があり、当選者50組（大人85名、子ども70名、合計155名）となった。

当日の出席者は41組（大人71名、子ども56名、合計127名）だった。公民館のホームページと市広報が案内の中心であったが、予想外に希望者が多かったのが驚いた。申込方法は、専用フォームだけであったが混乱はなかった。

内容は、絵本「くるみ割り人形」の読み聞かせと、その場面に合わせたピアノ演奏や、ピアノにまつわるクイズコーナー、サンタチームとトナカイチームに分かれて持ってきたおもちゃをピアノに演奏に合わせて鳴らすコーナー、申込時にリクエストしてもらった曲の演奏等で、1時間のコンサートは終了とな

った。

中央公民館の職員はサンタの衣装とトナカイの帽子の扮装をしてコンサートを盛り上げた。

最後はピアノ演奏と共に全員で手拍子やおもちゃを鳴らし、子どもは前に出て演奏に合わせて踊り、楽しそうにしていた。

アンケートフォームでのアンケートにしたのだが、回答が41組中10件だったので、次回参加者の多いイベントでは、アンケートを入力する時間をとる等していきたいと思った。



子どもと良好な関係を築くために

(1) ねらい

- ①子育て支援をするために必要な基本的な知識や技術を学習する。
- ②子育て中の親や子どもたちを支援する地域ボランティアを育成する。
- ③子どもへの接し方で褒めて、認めて、共感するコミュニケーションの方法や、発達障害についての基礎知識を学び、子どもを守る地域づくりの機会とする。

(2) 対象等

対象：前橋ボランティア連絡会会員及び子育て支援に関心のある本市市民
30人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	10/13 (金) 10:00~11:30	子どもと良好な関係を築くために	講義	教育支援課 吉田 智恵子	11名

(4) 評価と反省

今回の講座は対象を子育て支援をしたい方ならどなたでも可とし、子どもと良好な関係を築くため、必要な知識を学んでいただく機会として開催した前橋市教育支援課の吉田智恵子先生による、ほめる子育ての目的やその利点、ほめ

て認める、共感的な声掛けの仕方など具体的な例を交えて教えてくださった。

また、中央公民館で託児ボランティアを依頼している「前橋ボランティア連絡会」の方も5名に参加し、受付のお手伝いと講義を聞いていただいた。

参加者の感想では、「もっと話を聞きたかった」「具体的な例が多く勉強になった」「ほかの参加者の悩みや考えも聞けて参考になりました」等、満足ある感想が得られ、講座が終了できた。



2 上川淵公民館

上川淵・下川淵・東合同親子の絆づくりプログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和5年2月2日～6月1日生まれ）とその母親
10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	8/1 (火) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	子育て 支援課 BPファ シリテ ーター	7
2	8/8 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7

3	8/15 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			7
4	8/22 (火) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			7

(4) 評価と反省

今年度は東公民館を会場として開催。

4回連続のプログラムを通して、はじめて子育てをする人はみな同じような悩みを持つことを知り、孤独感を減らす取り組みとなった。

今回の講座が、新しい友達作りのきっかけの場となったようで、上川淵公民館で開催した別の講座と一緒に参加する姿が見られた。

親子カルトナージュ教室

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②ハンドクラフトを通し、手指を使う楽しさを伝える機会とする。
- ③公民館利用団体に協力してもらうことにより、地域の交流を図る。

(2) 対象等

対象：市内在住で未就学児とその親 6組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	5/21 (日) 10:00~12:00	「親子カルトナージュ教室」	講義 実技	カルトナージュ工房 アトリエC'S 山田 千里 カルトナージュの会 (公民館利用団体)	7

(4) 評価と反省

カルトナージュという聞きなれない内容だったためか、申込は4組に留まった。当日は1組急用のため欠席となり3組参加での講座となった。しかし、作成で躓いた際、講師や協力者にすぐサポートしてもらうことができ、遅れてしまう子が出なかったため、結果的に少人数で良かった部分もあった。どの家族も完成した作品を見てとても喜んでおり、アンケートの満足度も高かった。次回を望む声もあったため、検討していきたい。



講師の説明の様子



作成の様子

親子じゃがいも収穫チャレンジ

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②地域の方々との世代間交流を図る。
- ③じゃがいもの収穫を通して、食べ物大切さを学ぶ機会とする。

(2) 対象等

対象：上川淵地区在住の小学生以下の子とその保護者 5組

周知方法：公民館報、チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/17(土) 9:00~11:00	親子じゃがいも収穫 チャレンジ	実技	地域づくり協議会 食育部会	25

(4) 評価と反省

地域づくり協議会のじゃがいも収穫に合わせて開催。駐車台数の関係で定員を5組に設定したが、申込開始後早々に定員となってしまった。その後に申し込みがあった方に徒歩なら参加可能と説明したところ、徒歩でいいから参加したいという方が3組もあり、収穫体験のニーズの高さを実感した。

当日は参加者みんな楽しそうにじゃがいもの収穫をしており、収穫したじゃがいもを笑顔で持ち帰っていた。アンケートの満足度も高く、食育に繋がる良い講座になったと考える。食育だけでなく、地域づくり協議会食育部会のサポーターとの世代間交流も図ることができる本講座を、今後も継続していきたい。



収穫の様子

すくすくクラブ@ファミリー⑥「抱っこひもでエクササイズ」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②子育てにおける不安の解消やリフレッシュの場とする。
- ③同年齢の子を持つ親同士で交流を図り、孤独感を和らげる。

(2) 対象等

対象：市内在住の一歳未満の子とその保護者 8組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/30（月） 10:00～11:30	抱っこひもでエクササイズ	実技	フィットネスインストラクター 桑原 一美	16

(4) 評価と反省

本講座は前年度に開催し大変好評だったもので、本年度も申込開始後すぐに定員となった。

母親は体を動かすことでリフレッシュできたようで、赤ちゃん達も、エクササイズ中に寝てしまう子も見受けられ、母子ともに楽しい時間になったようだった。また、講座の休憩中や終了後に参加者同士で育児の悩みを話している様子が見受けられ、良い交流の場となったように思う。

参加者から、連続講座を望む声が多くあったため、次年度は連続講座で行うことを検討したい。



エクササイズの様子



ヨガの様子

親子さつまいも収穫チャレンジ

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②地域の方々との世代間交流を図る。
- ③さつまいもの収穫を通して、食育の機会とする。

(2) 対象等

対象：上川淵地区在住の小学生以下の子とその保護者 6組

周知方法：公民館報、チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/7(土) 9:00~11:00	親子さつまいも収穫 チャレンジ	実技	地域づくり協議会 食育部会	25

(4) 評価と反省

地域づくり協議会のさつまいも収穫に合わせて開催。前記のじゃがいも収穫体験と同様に申込受付開始後早々に定員となってしまった。今回も、徒歩なら参加可能と説明したところ、徒歩でいいから参加したいという方が4組もおり、収穫体験のニーズの高さを実感した。

参加者達は皆楽しそうにさつまいもの収穫をしていた。また食育サポーターの計らいにより落花生も収穫させてもらうことができ、良い体験をしてもらうことができたと考える。

食育だけでなく、地域づくり協議会食育部会のサポーターさんとの世代間交流も図ることができる本講座を、今後も継続していきたい。



さつまいも収穫の様子



落花生収穫の様子

クリスマスリースを作ろう！

(1) ねらい

- ①保護者が安心して子どもを連れて学習ができる機会を提供する。
- ②ハンドクラフトを通し、手指を使う楽しさを伝える機会とする。
- ③子育てにおける不安の解消やリフレッシュの場とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳以上の子とその保護者 15組（親のみの参加可）

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/23（木） 13:00～15:00	クリスマスリース作り	実技	エコ食楽部	30

(4) 評価と反省

クリスマスに向けてリースづくりの講座を行った。

リース作りを始める前に講師からリースの成り立ちについての説明があり、その後リース作り開始となった。リースの土台や、飾り付け用の様々な木の実はリボンが講師が豊富に用意しており、皆とても楽しそうに選んでいた。子どももだが、親も夢中になって作っている様子が見受けられた。

今回は接着にグルーガンを使用した。高温の接着剤を触ってしまった子が3名ほどおり、幸い火傷にはならなかったが、始まる前に念入りにアナウンスすべきだったと反省した。

また、席順は自由席の予定で決めていなかったが、当日講師よりグルーガンを持っていない家族をステージ寄りに配置したいとの話があり、急遽席順を決めることになった。その結果、大変慌ただしくなってしまったため、今後は講師への事前確認をしっかりと行いたい。



制作の様子



完成したリース

親子でチャレンジ！古代米パン教室

(1) ねらい

- ①保護者が安心して子どもを連れて学習ができる機会を提供する。
- ②調理実習を通し、食育について考える。
- ③地域の特産品を使用することで、地域に親しむ機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の小学生の子とその保護者 6組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/9（土） 9:30～正午	親子でチャレンジ！ 古代米パン教室	実技	エコ食楽部	16

(4) 評価と反省

上川淵地区地域づくり協議会で育てた古代米を米粉にし、それを用いてパンを作る講座を上川淵地区地域づくり協議会と共催で行った。

スコーンとイングリッシュマフィンの2種を作ったが、事前に講師が材料を計量し各テーブルに配置していたため、スムーズに調理を行うことができた。子どもでも簡単に作れるよう、粉はポリ袋で混ぜ、バターは指でつぶす等レシピが工夫されており、低学年の子から高学年の子まで問題なく作ることができた。

子供だけでなく、親も楽しそうに作っており、家で作る際のパン生地の発酵方法等を講師に熱心に聞いている姿が見受けられた。

今回の講座を通して地域の特産物である古代米を知ってもらう機会にも繋がったため、次年度以降も地域づくり協議会と協力した講座を行っていきたい。



調理の様子



完成したスコーン

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①いじめについて学び、社会的問題を考える。
- ②前橋市のいじめに対する取り組みを知ってもらう機会とする。
- ③いじめのない地域づくりを目指し、地域住民のいじめに対する意識向上を図る。

(2) 対象等

対象：地域住民、上川淵地区ボランティア連絡会、上川淵地区民生委員児童、
委員連絡協議会、上川淵地区保健推進委員 15名

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/28（水） 14:00～15:00	いじめゼロ！ ～笑顔あふれる子どもたち～	実技	前橋市教育支援課 職員	12

(4) 評価と反省

まえばし出前講座を利用して、教育支援課の「いじめゼロ！～笑顔あふれる子どもたち～」についてお話いただいた。

参加者が伸び悩んでいたが、地区の子どもに関わる団体に周知をお願いし、計11名参加していただくことができた。

講座の内容は、講師が教員時代の経験を交えながらとても分かりやすく説明してくれ、いじめに関するクイズや動画の視聴を行う等、参加者を飽きさせないよう工夫されており、どの参加者も皆真剣に聴き入っていた。

また、講座に合わせ図書館上川淵分館がいじめに関する本の特集コーナーを設けてくれたため、参加者に図書館への案内チラシを配布し、学びの持続を図った。

参加者の方から「とても良い内容だったため、小中学生の親御さん達にぜひ

聞いてもらいたい」との意見があったため、次年度子育て支援講座を開催する際は、子育て世代が参加しやすいような日程も検討したい。



講座の様子



図書館上川淵分館特集コーナー

3 下川淵公民館

こどもに多い事故と予防・看病と手当の仕方

(1) ねらい

- ①子育てにかかわる団体・保護者の交流を促進し、地域全体で子育てを支援する意識を高める。
- ②専門家による講習を受けることで、参加者の子育て知識の向上を図る。

(2) 対象等

対象：子育て中の保護者・子育て支援に興味のある方

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/2(水) 10:00～11:30	・こどもに多い事故 ・予防・看病と手当の仕方	講義	日本赤十字社 群馬県支部講習係	7人

(4) 評価と反省

主に子育て中の保護者を対象として行った事業であるが、託児がない座学の講座ということで、親子の参加は一組にとどまった。大半の参加者は地区民生委員だったが、皆熱心に質問等しており、活発に意見が飛び交う講座となった。

こどもの発達段階に応じて起こりやすい事故、注意すべき事項を、参加者の実体験をもとに丁寧に解説してもらえたため、参加者は講座内容を自分ごととして捉えることができ、満足度も高いものとなったようだった。

今後の子育て親子支援事業を実施する際は、時期やこどもの託児体制等を整え、民生委員や保健推進員とも連携を取りながら事業を実施していきたい。

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”「ベビープログラム(愛称:BP)

(1) ねらい

- ①親が安心してこどもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住で2か月から5か月の第一子（令和5年2月2日～令和5年6月1日生）とその母親

周知方法：地区内（下川淵・上川淵・東）へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（火） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実習	前橋市子育て支援課 BPファシリテーター	7組
2	8/8（火） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	講義 実習		7組
3	8/15（火） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	講義 実習		7組
4	8/22（火） 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に	講義 実習		7組

(4) 評価と反省

参加者は保健師による訪問の際に本事業を知った人が多く、地区外からの参加者もいた。最初は緊張していた人が多かったが、お互いの紹介やペアワーク・グループワークにしっかり時間を割いたおかげで、次第に参加者が打ち解けていく様子が見えてきた。近い月齢の第一子の子育て中の親ということもあり、

共通の悩みも多く、それらを共有することで参加者同士の距離が縮まったように感じる。

全4回の講座を通して、母子ともにリラックスしていく様子が目に見えてわかり、連続講座の重要性を感じた。参加者同士の仲が深まるとともに、初めて子育てする親の悩みを共有したり、アドバイスをもらえたりと有意義な時間が過ごせたようだった。BP ファシリテーターによる本講座は講義ではなく、あくまで自分で考え、自分の言葉で話すものであり、子育てに追われる日々の中ではこのような機会を捻出することが難しいため、自分の今と向き合う貴重な経験になったのではないかと感じる。



他己紹介シート



グループワークの様子

バランスボールエクササイズ&おしゃべりママサロン

(1) ねらい

- ① 同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ② 閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュし、自らのキャリアについて考える機会とする。
- ③ 地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。

(2) 対象等

対象：第一回・第二回 2か月～8か月未満の子と母親

第三回 2か月～8か月未満の子と父母

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/4 (月) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズ (60分) おしゃべりママサロン (60分)	実習	上州 mamato 峰岸 圭衣	7組

2	9/11 (月) 10:00~12:00				6組
3	9/18 (月祝) 10:00~12:00				5組

(4) 評価と反省

最初は初対面同士で緊張している様子の参加者だったが、赤ちゃん同士が真ん中のマットに寝ている間に参加者同士の交流が始まった。自分とこどもの状況に合わせて各自でバランスボールを活用し、後半のおしゃべりママサロンではアイスブレイクのおかげで空気が打ち解け、一見重く感じられるテーマとも真剣に向き合い意見交換を行っていた。

最終回では、今までの2回と同じ内容を父親も参加して行った。父親は皆、積極的に参加し、楽しみながら体を動かしていた。後半のワークでは夫婦でペアを組み、日頃なかなか話す機会のない、今後の自分のあり方と向き合うきっかけになったのではないかと感じる。

連続講座を行うと、こどもも環境に慣れてスムーズに講座進行を行うことができ、保護者同士のコミュニケーションも活発になり全体の雰囲気良くなる感じた。今後も、テーマを変えて、親子の役に立つ連続講座を実施できればと思う。



バランスボールエクササイズの様子



おしゃべりママサロンの様子

寝相アート@下川淵地区子育てサロン

(1) ねらい

- ① 同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ② 地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：12か月までのこどもと親

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/12(木) 10:00~11:30	寝相アート	実習	寝相アート® みやざわ りょうこ 下川淵地区子育てサロン	6組

(4) 評価と反省

地区子育てサロンと同日開催にしたことにより、参加者が待ち時間を苦にすることなく過ごすことができた。急な体調不良によるキャンセルが発生したが、子育てサロン参加者の中から対象年齢の親子に声掛けを行い撮影に参加してもらうこともできた。講座を通じて子育てサロンの事業周知と様々な育児の情報交換をすることができる有意義な時間の使い方ができたと感じる。

撮影時間は各組10分程度だったが、講師や子育てサロンスタッフの協力もあり、赤ちゃんたちは概ね順調に撮影を行うことができ、親子ともに良い記念になったようだった。

大々的な募集は行わなかったが、すぐ定員に達し事業の需要の高さを実感した。今後も定期的な実施を検討したい。



撮影の様子



子育てサロンの様子

親子リトミック教室

(1) ねらい

- ①同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②親子が心身ともにリフレッシュする機会とする。
- ③音楽に合わせて体を動かすリトミックを体験することで、こどもの情操教育の一助とする。

(2) 対象等

対象：第一回 0歳から2歳までのこどもと保護者

第二回 3歳から5歳までのこどもと保護者

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/25 (水) 10:30~11:30	親子リトミック	実習	山谷 美歌	11組 子11人
2	10/29 (日) 14:00~15:00	親子リトミック	実習	山谷 美歌	6組 子11人

(4) 評価と反省

日頃から地区子育てサロンや公民館講座に参加している親子が多く、和気あいあいとした雰囲気で開催を行うことができた。講師を含め、ほとんどが下川淵地区在住だったため、地元の情報交換等で話が弾む場面もあった。年齢によって開催日を分けたため、講師はこどもの発達や当日の状況に応じて臨機応変に内容を変更し対応していた。

子ども達ははじめてのリトミックに最初は戸惑っていたようだが、知っている曲に合わせて手拍子をしたり体を動かしたりしているうちにどんどんのびのびと活動できるようになっていき、年齢を問わず皆楽しそうに遊んでいた。

参加者の人数も多く、需要の大きさを感じたため、今後も定期的に同内容の講座を開催したい。また、その際は年齢の分け方や開催時間等について、より参加しやすくなるよう検討していきたい。



リズムに合わせておさんぽ



くだものれっしゃの様子

クリスマスフォトスポット&手作りアルバム作り

(1) ねらい

- ①四季に合わせた行事を体験することでこどもの情操の発達を支援する。
- ②同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ③地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：未就園児親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/7（木） 10:00～11:30	クリスマスフォトスポット 手作りアルバム作り	実習	秋山 泰子 下川淵地区子育てサ ロン	8組

(4) 評価と反省

乳幼児親子を対象とした工作教室だったため、事前に地区の子育てサロンスタッフに運営の補助を依頼した。保護者が集中して作業を行う場面では、こどもが危険な場面に遭遇しないよう、また、飽きずに過ごせるよう部屋の後ろにおもちゃを設置していたが、スタッフの協力のおかげで大変スムーズに講座が進んだ。人数を絞って実施したおかげで、こども一人一人に目を配ることができ、時間に余裕を持って実施することができた。

今後も、保護者が集中して取り組む必要がある内容の講座を実施する場合は、引き続き地区団体と協力連携をしながら、地区の子育て支援事業の充実を図りたい。



作成中の様子



奥のフォトスポットで撮影

子育てサロンでクリスマス

(1) ねらい

- ① 同年代のこどもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ② 地区子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。
- ③ 地区子育てサロンの周知・利用者増加を目指すとともに、公民館が主催する子育て親子支援事業の参加者層のニーズを把握し、適切な子育て親子支援を提供するための情報を収集する。

(2) 対象等

対象：未就園児親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/14（木） 10:00～11:30	・人形劇 ・プレゼント ・記念撮影	実習	下川淵地区子育てサロン おはなしの会もこもこ	34組 子40人

(4) 評価と反省

例年実施している子育てサロンクリスマス会だが、コロナ禍での開催時間の短縮と人数制限を撤廃しての久々の実施となり、参加人数は過去最高のこども40人となった。0歳から3歳までのこどもが集まったため、人形劇は楽しめる年齢と難しく感じる年齢に分かれてしまったが、民生会長扮するサンタクロースはクオリティが高いと保護者から大評判で、写真撮影には長蛇の列ができるほどの盛況だった。来年も参加したいという声も多く、公民館の子育て親子支援事業と地区子育てサロンの継続的な活動のお陰で多くの参加者が集まったと考える。今後も、地区子育てサロンと協力し、親子で楽しく過ごすことのできる時間・場所を提供できるような事業を展開していきたい。



人形劇を楽しむ様子



サンタさんとのフォトスポット

下川淵親子すくすく教室

(1) ねらい

- ①同年代のこどもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②親子で一緒に体を動かし、こどもの特性に向き合う。
- ③生活の中に手軽にできる運動を取り入れることで、健康を増進する。

(2) 対象等

対象：一歳未満の子と親

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/26(月) 10:00~11:30	親子のワクワク体操	実習	神尾 直子	4組
2	3/1(金) 10:00~11:30	きらきら笑顔で親子遊び	実習	それいけ!まえばし 出前講座	3組
3	3/11(月) 10:00~11:30	抱っこひもエクササイズ	実習	桑原 一美	5組

(4) 評価と反省

全三回の連続講座として実施し、親子のふれあいと保護者同士の交流、保護者自身のストレス発散やリラックスにつながるような内容で講座を行った。

第一回の講座ではこどもの手足を刺激したり手遊び歌を歌ったりするほか、こどもを抱きかかえてのストレッチ・筋トレや、保護者が主となって体を動かす時間を設けることができたため、どの参加者も充実した時間を過ごすことができたようだった。

第二回の講座では、地区主任児童委員による見守りもあり、地区の子育てサロンの紹介を行ったり、保護者同士意見交換を行ったり、講師の保育士に相談するなど、交流の時間を多くとることができた。

第三回の講座では、参加者同士の雰囲気も打ち解けており、連続講座を実施することによる効果を感じられる結果となった。



親子のワクワク体操の様子



抱っこひもエクササイズの様子

4 芳賀公民館

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 南橘・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和4年11月11日～令和5年3月10日生まれ）を持つ母親とその子

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	日時	学習内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/10 (水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループ ワーク	子育て支援 課職員 BPファシ リテーター	24人 (12組)
2	5/17 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			22人 (11組)
3	5/24 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			22人 (11組)
4	5/31 (水) 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			20人 (10組)

(4) 評価と反省

本講座は南橘、芳賀、富士見公民館の3館の合同事業として、芳賀公民館を会場に実施した。コロナ禍を超えて多くの参加者があった。月齢の近い子どもを持つ母親同士のため仲良くなり、4回の講座終了後にはグループ化となり「BP2023」というグループ名で自主学習グループ活動をする事となった。現在、2週間に1度、芳賀公民館で会合を持ち、楽しんで育児を行い、リフレッシュできる時間を持っている様子が伺える。



第4回
抱っこを楽しむ様子



第4回
グループで話し合っている様子

おやこのじかんFORベビー

(1) ねらい

- ①講座を通じて育児に必要な知識や技術を学び、子育て仲間を作り、子育てしやすい環境を作る。
- ②親子遊び等を通し、ふれあうことで心豊かな親子関係を作る。
- ③子育ての不安やストレスを軽減する機会とする。

(2) 対象等

対象：首が座ってから1歳の誕生日を迎えるまでの赤ちゃんとその保護者
周知方法：公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/14（金） 10:00～11:30	バランスボール&ピラティス	実技	マミーナボディメソッドインストラクター 峰岸 圭衣	26人 (13組)
2	7/21（金） 10:00～11:30	乳児の救命救急	実技	前橋市消防局北消防署救急隊	30人 (15組)
3	7/28（金） 10:00～11:30	抱っこでエクササイズ	実技	マミーナボディメソッドインストラクター 峰岸 圭衣	14人 (7組)

(4) 評価と反省

以前は対象が0～3歳児とその保護者であったものを、昨年度から0歳児とその保護者に絞り本年度も講座を開催した。対象を0歳児としたことで保護者が安心して参加できるようになったこと、またベビープログラム参加者のメンバーが引き続き参加したことで活気ある講座となった。保護者のリフレッシュの場となるとともに、救命救急などを学び、有意義なものとなったと思われた。



第1回 バランスボール&ピラティス
(バランスボールでエクササイズの様子)



第2回 乳児の救命救急
(人形を使っての胸骨圧迫の練習の様子)



第3回 抱っこでエクササイズ
(赤ちゃんを抱っこしてエクササイズの様子)

芳賀公民館館長の秘密の手帳を探せ！（芳賀地区周遊型謎解きゲーム）

(1) ねらい

- ①親子で身近に楽しむ機会を提供する。
- ②親子でいっしょに問題に取り組むことにより、親子の交流を図る。また、およそ1カ月の期間を設け、参加日程を自由にすることにより、父親の育児参加を図る。
- ③地域の文化財などに触れ、地域への関心を高める。

(2) 対象等

対象：市内在住の小学1年生から6年生までの子どもとその保護者

周知方法：タブレット配信、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	人数
1	10/6（金） ～11/7 （火）	周遊型謎解きゲーム	体験	協力 図書館芳賀分館	119人（45組） ※ゲームクリア者 98人（36組）

(4) 評価と反省

一昨年度、コロナ禍の中で人を集めずに親子が安心して楽しめる事業ができればと開始した謎解きゲームであったが、好評であったためコロナが落ち着いた今年度も開催した。今回のストーリーも、芳賀公民館館長の手帳が怪盗コーミンカーンに奪われ、謎のメッセージがあったところから始まることとした。参加者は館長の手帳を探し出す役として参加した。

申込者45組の内24組が昨年度も参加した親子であり、リピーター率が高いため、飽きられないように新たな謎を作成することに苦心した。ゲームクリア率は80%であった。クリアした36組の内、父親の参加率が30%を超えたことは父親の子育て参加を促すことができたと考えられた。

また、アンケートの結果から家族で謎解きを楽しんでいる様子うかがえた。57%が芳賀地区外からの申込みであり、芳賀地区への関心も持ってもらえたと思われる。



怪盗コーミンカーンからのメッセージ



館長の手帳のありかの地図
怪盗コーミンカーンのメッセージの謎を解いて、地図を手に入れる



謎ときの途中
QRコードを読み込んで次へ進む



手帳が隠された宝箱
これでゲームクリア

「ちょっと気になる子」のサポート講座

(1) ねらい

- ①発達障害や繊細過ぎる子どもたちの困難さを知ることによって理解を深め、子育て支援体制の充実を図る。
- ②発達障害や繊細過ぎる子どもの特性やそれに応じた具体的な支援方法を学ぶことにより、保護者及び保育をする人が楽しんで育児を行うことができるよう支援を図る。
- ③子育ての知識と理解を深める。

(2) 対象等

対象：市内在住在勤の人

- ・発達障害やグレーゾーン、繊細過ぎる子どもを持つ保護者
- ・学童、幼稚園、保育園や放課後デイ等の支援員
- ・民生児童委員、保健推進員、地域ボランティアの会員等

周知方法：タブレット配信（市内全小学校）、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/1（金） 10:00～12:00	ちょっと気になる子どもの理解	講義	共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 上原 篤彦	50人
2	12/8（金） 10:00～12:00	ちょっと気になる子どもの具体的支援	講義		48人

(4) 評価と反省

昨年度、一昨年度と発達障害やグレーゾーンの子どもたちの支援の講座を開催したが、今年度は発達障害と繊細過ぎる子ども（HSC）たちの支援の講座として開催した。前回開催した際にもっと聞きたいという意見が多かった上原先生を招き、2時間×2回で実施した。今年度も申込段階からかなり反響があり、数日で定員40人に達したため、講師に相談し、人数を増やして開催することとなった。

内容は子どもたちの抱えている困難さを視覚的に伝えるものや支援方法など、とても参考になるものであった。ただ、講義内容が4時間では足りない深い内容であったため、具体的支援の部分が短時間になってしまったことが残念であった。受講者からも具体的な支援方法についてより学びたいという声が多かったことから、全3回で開催するか、または具体的な支援の仕方を中心に、

発達障害にしばってお願いするべきであったと思う。ただ、保護者だけではなく、支援者、関心のある人が受講することで、発達障害の子どもたちについての理解が進み、子どもたち及びその保護者が過ごしやすいソフト面での環境づくりに役立てればと思う。



講座の様子

クリスマスファミリーコンサート2023

(1) ねらい

- ①オーケストラによる生の音楽を聴くことにより、子どもたちへ音楽に親しむ機会を提供する。
- ②幼い子どもを連れての音楽鑑賞が難しい保護者へ楽しみの提供やストレス軽減の機会とする。
- ③大学生の地域貢献の機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳～小学6年生までの子どもとその保護者

周知方法：タブレット配信、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/3 (日) 10:00～11:00	子どものための初めてのオーケストラ	実技	群馬大学フィルハーモニックオーケストラ部	63人 (22組)

(4) 評価と反省

オーケストラによる生の音楽を聴く時間を子どもたちとその保護者に楽しんでもらうため、日頃、芳賀公民館を利用している群馬大学フィルハーモニックオーケストラ部に出演を依頼し、昨年度に引き続き、今年度もクリスマスファミリーコンサートとして開催した。

曲の構成は大学生が選曲し、演奏中の司会進行も大学生が行った。有名なク

ラシックやクリスマスの名曲を中心に、現代の音楽も混ぜ、参加者に手拍子を求め、参加を盛り込む場面もあり、親子が楽しんで聴いている様子が見られた。オーケストラは迫力があり、生の演奏を聴くことは子どもたちの心に残るものであったと思われた。また大学生にとっても発表の場となり、地域とつながるよい機会になったのではないかと思われた。



コンサートの様子

5 桂萱公民館

わいわい子育てセミナー(前期その1)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳児から1歳6か月未満の子とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3) 内容

在籍11組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/7(木) 10:00~11:30	はじめまして！親子遊び	実技	市幼児教育センター アドバイザー 今井 寿美枝	9組
2	9/13(水) 10:00~12:00	陶芸教室 コップかお皿	実習	楽陶クラブ	10組

3	9/21 (木) 10:00～11:30	ベビーダンス	実技	キッズベビーダンス インストラクター 加藤 七恵	9組
4	9/25 (月) 10:00～11:30	アンデコールロゼット作り	実習	アンデコールロゼット 認定講師 本間 奈津希	7組

(4) 評価と反省

公民館報で運営委員を募集したところ2名の運営委員が集まり、運営委員会で内容や方法を検討し開催に至った。毎年定員超過で参加できない人がいることから、対象年齢を0歳児から1歳6か月未満と1歳6か月から3歳の子に分けて、4回連続講座を1セットとして実施した。新型コロナウイルス感染症が緩和されて、各1講座に1回託児を開催することとなった。

託児があることで、心配していた方もいたが、子どもと離れ親同士で交流でき楽しく陶芸を行っていてリフレッシュの場とすることができた。託児の際は、それぞれの参加者の子どものおもちゃ、タオル、ミルク、おむつ等が混ざらないように全ての持ち物に名前の記入をすることを徹底しなくてはいけないと感じた。沢山の子どもがいるのでどの子に何をしたのか全員で子どもの状態を把握できるように、メモ書きで共有していくことが大事と感じた。

今回、子どもの月齢を分けたことで、講座の運営は去年に比べて格段にしやすくなった。



陶芸の様子



託児の様子

わいわい子育てセミナー(前期その2)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、

子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：1歳6か月から3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3) 内容

在籍6組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/5(木) 10:00~11:30	はじめまして!親子遊び	実技	子ども支援課 保育士、管理栄養士	4組
2	10/11(水) 10:00~12:00	料理教室 パウンドケーキ作り	実習	わかばの会 指田 純子	4組
3	10/19(木) 10:00~11:30	キッズダンス	実技	キッズベビーダンス インストラクター 加藤 七恵	4組
4	10/23(月) 10:00~11:30	アンデコールロゼット作り	実習	アンデコールロゼット 認定講師 本間 奈津希	4組

(4) 評価と反省

1歳6か月から3歳児の子とその保護者が対象では、申込者がとても少なく、児童館にチラシを置かせていただいたり、運営委員さんの協力でなんとか開催できる人数まで達した。少人数での講座により参加者全員が一人一人と交流でき初回からとても仲が深まった印象が強い。

第3回目のキッズダンスでは、様々なメニューで子どもと一緒に体を動かすことができ、親子共に笑顔が見えた。

第4回目のアンデコールロゼット作りでは、簡単に可愛いものが作れて満足している様子を感じ取れた。

小人数であると参加者同士話す時間も多く、深く交流できるのでその点に関しては成果があった。



キッズダンスの様子



アンデコールロゼットの様子

わいわい子育てセミナー(前期番外編)・青少年オータムチャレンジ合同

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：セミナー参加者 0歳児から3歳の子とその兄弟とその保護者

周知方法：公式LINE、チラシ

(3) 内容

	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/21(土) 10:00~11:00	さつまいも掘り	実技	農畜産物直売所 「味菜」	中止
2	10/22(日) 10:00~11:30	荻窪公園で探検&工作	実技	田子 智代	4組 15人

(4) 評価と反省

さつまいも掘りは、申込者はいたが、雨天延期により別日程になったため参加者がいなくなってしまうと、青少年オータムチャレンジ単独講座として実施された。運営委員より休日に家族全員で参加できる回があると良いという意見があったため、休日に行う回を設けた。

荻窪公園行事の工作では、どんぐりや落ち葉拾いをしてマラカスや冠作りを楽しく作業していて満足そうだった。子どもの工作中的真剣な姿であったり、普段見ることのない子どもの一面を見ることができてよかったと好評だった。

休日講座の必要性を感じとれたので、さつまいも掘りを含めぜひ来年度も実施したい。



読み聞かせの様子



落ち葉や木の実で作品作りの様子

わいわい子育てセミナー(後期その3)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象： 0歳児から1歳6か月未満の子とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、インスタグラム

(3) 内容

在籍 13組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/6 (月) 10:00~11:30	はじめまして！親子遊び	実技	子ども支援課 保育士、管理栄養士	10組
2	11/8 (水) 10:00~12:00	料理教室 蒸しパン作り	実習	わかばの会 指田 純子	8組
3	11/16 (木) 10:00~11:30	手形足形シールフラワーアート	実技	Pta pta art 坂本 ゆきえ	13組
4	11/20 (月) 10:00~11:30	レジンのキーホルダー作り	実技	インアリウム認定講師 大矢 宏美	10組

(4) 評価と反省

前期その1に参加していただいた方も数名再度申込していただき、13組集まった。作業するペアは、新規申込者と2回目申込者を混ぜてできるだけ関わった事のない方達同士で組み、交流できるようにして、多くの方と交流できたと思う。

一番楽しみにしている講座に手形足形シールフラワーアートがあがり、全員が出席で開催できた。参加者から「記念のものができて良かった」「とても楽しくかわいい作品が出来て嬉しい」などの感想があり好評だった。子どもの成長を形に残せる事はとても良い機会なので、今後も開催していきたい。



蒸しパン作りの様子



手形足形シールフラワーアートの様子

わいわい子育てセミナー(後期その4)【中止】

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：1歳6か月から3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ、Instagram

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/4 (月) 10:00~11:30	はじめまして！親子遊び	実技	市幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝	中止
2	12/6 (水) 10:00~12:00	陶芸教室 お皿かコップ作り	実習	楽陶クラブ	中止
3	12/13 (水) 10:00~11:30	みんなで笑おう！～イヤイヤ期の子育て～	講義	市幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	中止
4	12/21 (木) 10:00~11:30	クリスマスバルーンアート	実技	設楽 和幸	中止

(4) 評価と反省

対象年齢が1歳6か月から3歳児であるためか、申込者が少なく開催中止となってしまった。平日開催であり、働く親が大半であることを実感させられる結果となった。

わいわい子育てセミナー(前後期総集編)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術と一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：セミナー参加者 0歳児から3歳の子とその兄弟とその保護者

周知方法：公式LINE、チラシ

(3) 内容

在籍 15組

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/25(月) 10:00~12:00	全員集合！クリスマス会	実技	桂萱読み聞かせの会 「はぐはぐ」 設楽 和幸	12組

(4) 評価と反省

総集編のイベントとしてクリスマス会を実施した。事前準備等を行いホールの会場はクリスマスを感じられる雰囲気ですセミナーを行うことができた。

父親や兄弟も参加してもらい、家族で有意義な時間を過ごせる機会を作れた。人形劇と紙芝居ではみんな熱心に聞いている様子だった。

○×ゲームプレゼント交換では、良い生活のためになるような問題を取り入れ楽しみながらもとても参考になった。

バルーンアートでは、今の季節ならではの雪だるま作りを行い、とてもかわいらしく仕上がり好評だった。

家族全員で参加できるイベントの企画は、今後も続ける方法で検討したい。



読み聞かせの様子



バルーンアートの様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:愛称 BP)
桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親が、安心できる雰囲気の中で子どもとふれ合い親子の絆を深める。
- ②乳児期の育児について、不安などを共有しながら必要な知識を学ぶ。
- ③同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和5年6月6日～10月5日生まれ）を育てている母親とその子

定員：14組（先着順）

開催場所：城南公民館（支所） 2階和室

在籍者数：14組 延べ参加数 50組

(3) 内容

回	日時	学習主・内容・方法等	講師
1	12/5 (火) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	BP ファシリテーター (子育て支援課職員) 池田、根岸、堤保健師
2	12/12 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	
3	12/19 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	
4	12/26 (火) 10:00～12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に	

※各回 11時30分～12時は交流タイム

(4) 評価と反省

- ・最初は緊張気味だった参加者も徐々に打ち解け、交流タイムでは毎回話が尽きない様子であった。
- ・お互いにニックネームで呼び合う、プライバシーに配慮するなどのきまりもつくられ、進行配分もゆっくりで打ち解けやすい雰囲気づくりにも配慮されていた。
- ・母親同士の会話する時間が多く、お互いの悩み事などを知り、気持ちを共有することで、有意義な時間となった。

6 東公民館

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②たくさん笑い、体を動かすことで、親子共にリフレッシュする。
- ③幼児安全法について学ぶことで万が一の時に必要な知識を習得し、安心して育児が行えるようになる。

(2) 対象等

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員15組

周知方法：公民館報、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/21（水） 10:00～11:00	きらきら笑顔で親子遊び	実技	子育て支援課 こども発達支援 センター	6組 12人
2	6/29（木） 10:00～11:00	笑いヨガ ～笑いの健康体操～	実技	南橋笑いヨガ 門倉 美幸	13組 26人
3	7/6（木） 10:00～11:00	乳幼児の一次救命処置 ～もしものために～	講義	日本赤十字社	11組 24人

(4) 評価と反省

参加者のほとんどが初参加であった。講座の中で自己紹介することで、参加者同士が打ち解け仲良くなっていく姿を感じることが出来た。親子で、体を動かしたり、歌を歌ったり、親子のふれあいを学び、帰宅後もふれあいを大事にするよう講師から助言があり勉強になった様子だった。

笑いヨガでは、講師の方が高齢の方もおり、3世代交流となった。親子で、ふれあいリフレッシュの場となった。子ども達は、風船にも興味を引き歌ったり笑ったり楽しい時間となった。講師の方に椅子を出す等、配慮が必要だと感じた。

救命の講習では、お父さん2名の参加もあり、熱心に実技をしたり質問をしていた。実際に子どもサイズの人形を使っての救命の実技は、とても実践的な学びになっていた。3回の講座が終了する頃には、お母さん同士の交流も深まり情報交換する姿が見受けられた。



きらきら笑顔で親子遊び



笑いヨガ



乳幼児の一次救命処置

下川淵・上川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和5年2月2日～6月1日生まれ）と母親 10組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（火） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て支援課 職員 BPファシリテーター	7組 14人

2	8/8 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			6組 12人
3	8/15 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			5組 10人
4	8/22 (火) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に			7組 14人

(4) 評価と反省

三館合同事業として開催し、今年度は、東公民館(視聴覚室)を会場として実施した。

初めての子育てに不安のあるお母さんも多く、情報交換の場となりとても有意義な場となっていた。子育てに対しても不安解消されていた。回を重ねるごとに、お母さん同士の距離も縮まり連絡先の交換もされていた。

参加者の話から、ネットでも子育てについて簡単に情報収集できるが、同じ悩みを持つ親同士で直接話をすることで気持ちが楽になったとのこと。意義のある講座であったと感じた。



すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③子育てをする親が子どもと一緒に運動する機会を作り、健康増進を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 15組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
9/24（日） 10:00～11:00	パパ・ママ講座 ～親子みんなで遊ぼう～	実技	群馬医療福祉大学 准教授 鈴蘭幼稚園 園長 田中 輝幸	8組 27人

(4) 評価と反省

父、母、子どもで遊ぶ講座では、絵本やギターなどを活用し家族一体となって体を動かしたり、歌ったり、元気にとっても楽しそうに学んでいた。お父さんが主としてお子さんを抱っこし、高い高いをしたりとても良いコミュニケーションがとれていた。お母さんがいる事で、子どもは、リラックスできみなさん笑顔で受講していた。お父さんは、子どもとの距離がとても近く日頃から育児に関わっていることが想像できた。小さな子どもが両親と遊んでいる時の笑顔が印象的で、両親の愛情や絆を感じることができた。

家族で一体となることのできる講座は、今後も継続していきたいと思う。



親子みんなで遊ぼう



親子で高い高い

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

- ①子育てに必要な知識を学習し、保護者の教育力を高める。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員15組

周知方法：公民館報、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/3 (火) 10:00~12:00	ふれあい遊びと手形足形アート	実技	Petapeta-art 認定講師 坂本 ゆきえ	15組 31人
2	10/10 (火) 10:00~11:00	子育て井戸端会議	講義	講師 飯塚 由里	12組 25人
3	10/18 (水) 10:00~11:00	ベビーマッサージとふれあい遊び	実技	国際ボンディング協会 ベビー認定講師 大矢 宏美	12組 24人

(4) 評価と反省

今回の講座は、定員 15 組募集したところ、26 組の応募がありとても人気だった。

1 回目の講座は、作品作りにお母さん同士の交流ができ、2 時間と長い講座ではあったが子ども達も飽きることなく、とても思い出に残る作品が出来上がり評価の高い講座となった。

2 回目の講座は、コロナ以来初めての託児付きの講座となった。お母さんは、お子さんと離れて穏やかな気持ちで講座に参加できていた。

3 回目の講座は、お母さん同士も顔見知りとなり情報交換したりリフレッシュできている様子だった。実技の講座は、家でも実践できると好評だった。

3 回連続講座は、同年齢のお子さんのふれあいや、お母さんの情報交換の場となり評価も高く、継続していききたいと思う。



ふれあい遊びと手形足形アート



子育て井戸端会議



ベビーマッサージとふれあい遊び - 44 -

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員、民生・児童委員、主任児童委員

周知方法：保健推進員会及び民生委員・児童委員協議会宛に受講依頼送付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/6（水） 14:30～15:30	非認知能力知ってますか？～これからの社会で生きる子供たちに必要な能力～	講義	幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	30
2	10/25（水） 14:30～15:30	災害時の乳幼児支援	講義	日本赤十字社 群馬県支部 山室俊雄	38

(4) 評価と反省

①「あずま子育てひろば」の担い手でもある保健推進員を対象に定例会後に実施した。本講座のために作成されたパワーポイントは、とても分かりやすく好評だった。演題の非認知能力について知らない受講者がほとんどでとても勉強になったと好評だった。子どもが、自己肯定感を持つためにはためには、親の自己肯定感を高める事が必要であるなど、子育て世代を支援するためにあたっての知識について学ぶことが出来た。子育てひろばの担い手という事で、簡単に作れるおもちゃの紹介をしていただき好評だった。職場体験の中学生にも司会進行をお手伝いいただき、とても印象的で勉強になったと感想をいただいた。

②「あずま子育てひろば」の担い手である民生・児童委員及び主任児童委員を対象として定例会後実施した。配布されたハンドブックに沿った話は、とてもわかりやすかった。災害時の支援に対しての講座は、子どもや親の視点に立つなどとても役に立つ話だった。



非認知能力知ってますか？



災害時の乳幼児支援

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/27（月） 10:00～11:00	絵本の楽しみ方	実技	群馬医療福祉大学 教授 田中 浩之	7組 14人
2	12/4（月） 10:00～11:00	発達段階における事故防止	講義	群馬医療福祉大学 助教授 木戸 美佐子	6組 12人
3	12/20（水） 10:00～11:00	ギターで手遊び・歌遊び♪	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	8組 17人

(4) 評価と反省

第1回の講座では、絵本を使い参加者全員で本に出てくる動物などの動きや鳴き声をまねしたりと親子のふれあいをはかった。子どもの集中力を考え、早めに講座を修了し、残りの時間は、お母さん同士の情報交換や講師への質問とした。絵本は、ただ読むだけでなく、身体を使ったり、知育もできる子育てに欠かせない媒体であり、親子関係構築に必要であると実感する講座だった。

第2回の講座では、託児付きの講座だったため親だけの参加となった。お母さんは、お子さんに気を取られることなく集中して受講することができ評価も高かった。冬の時期に多いやけどの話は、実話を聞くことでとても勉強になっている様子だった。講座で、実際に誤飲チェッカーやチャイルドビジョンを使うことで実践的な学びとなった。

第3回の講座では、お父さんの追加参加もありました。先生が絵本を読み、親子でふれあい遊びをしながら絵本を見入ってる姿がとても良かった。ふれあい遊びをすることで適度な運動にもなっていた。ギターに合わせて、ノリノリでダンスするお子さんもいて親子でリフレッシュできている様子だった。お子さんは、ギターやギターケースを触ったり、音を出すことで一層興味がわいていた。少し早め終了し、お母さん同士の交流の場となり充実した時間となった。



絵本の楽しみ方



発達段階における事故防止



ギターで手遊び・歌遊び♪

7 元総社公民館

元総社すこやか学級

(1) ねらい

1 子育てに関する学習を通して、

- ①明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。
- ②育児における実践力を養う。

2 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通して、

- ①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。
- ②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

(2) 対象等

対象：市内在住の未就園児（1～3歳未満）とその保護者

周知方法：館報へ掲載、地区内各所へチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	9/27(水) 10:00~11:30	たこさんとあそぼう！ ～読み聞かせと 歌あそび～	実技 交流	たこさんのおはなしや 主宰 田子 智代	4組
2	10/4(水) 10:00~11:30	きらきら笑顔で親子遊び		子育て支援課 子ども発達支援センター 保育士 山崎 佐恵子 田中 真琴	5組
3	10/18(水) 10:00~11:30	ほめて育てるコミュニケーショントレーニング (ほめトレ！入門)		前橋市子ども支援課 職員 神子澤 信彦 主任	6組

(4) 評価と反省

定員には満たなかったが、少人数の講座となり母親同士も打ち解けが早く、子ども同士も年齢が近かったため一緒に遊ぶ姿が見られかえって良かったと思う。

また、今年度久しぶりに託児を利用して母親の知識や教養を深められる講座を行ってみたところ好評であった。良い親子関係を築くためには母親の息抜きが必要であることを感じた。来年度も託児を利用して母親が取り組める楽しい内容を提供したいと思う。



お店屋さんごっこ
(たこさんとあそぼう！)



子どもとふれあい遊び
(きらきら笑顔で親子遊び)



お互いをほめることを忘れずに
(ほめトレ！入門)



託児の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”(ベビープログラム:略称BP)

(1) ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

(2) 対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5ヶ月の第一子（令和4年12月17日～令和5年4月16日生）を育てている母親とその子（定員12組）

開催場所：清里公民館 第一・二和室

周知方法：①子育て支援課の事業（赤ちゃん訪問、健康相談等）を利用し対象者へチラシを配布。

②各公民館で、チラシを自治会回覧すると共に、公民館内にチラシを設置。

③申込み状況に応じ、各公民館報、ホームページへ掲載。

延べ参加者数：27組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	6/16（金） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技 交流	子育て支援課BP ファシリテーター	7組
2	6/23（金） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7組
3	6/30（金） 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			6組
4	7/7（金） 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			7組

(4) 評価と反省

例年通り清里公民館を会場として、元総社・総社・清里3館合同開催を行なった。グループになって意見交換をすることで子育ての不安や悩みを共有できて、安心感を得られた母親が多かったようである。講座終了後も公民館利用団体として登録し、交流を続けているようなので、今後も継続して公民館を交流の場として利用してもらえようサポートしていけたらと思う。

8 総社公民館

すくすく教室

(1) ねらい

- ①子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法等を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。
- ②親同士の交流を通し、安心して子育てができる環境の充実を図る。
- ③保育園等各関係機関との連携を図る。

(2) 対象等

対象：1歳から未就園児とその保護者12組（大人12人、子ども12人）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/2 (木) 10:30~11:30	イライラしない子育てっていいね ～みんなで一緒に考えてみませんか～	実技 体験 交流	前橋市幼児教育センター 幼児教育アドバイザー 塩崎政江 総社地区保健推進員会(託児)	8
2	11/7 (火) 10:30~11:30	はじめてのおはなしかい ～えほんであそぼう!～	実技 体験 交流	前橋市読み聞かせグループ連協 顧問 田子智代 副会長 牧裕美子	10
3	11/21 (火) 10:30~11:30	手作りおもちゃでたのしもう!	実技 体験 交流	前橋市読み聞かせグループ連協 顧問 田子智代 副会長 牧裕美子	8
4	11/28 (火) 10:00~12:00 (12:30 まで 試食)	親子で食べられる栄養たっぷりの簡単ランチを作ろう	実技 体験 交流	総社地区食生活改善推進員会(実習) 総社地区保健推進員会(託児)	8
5	12/14 (木) 10:00~12:00	【おたのしみイベント】 保育園へいってみよう! ～親子・園児みんなで 保育園クリスマス会～	実技 体験 交流	総社保育園保育士	11

(4) 評価と反省

全体的に参加人数は少ないものの、一組一組の状況を確認しながら進められ、ゆったりとした雰囲気で行うことができた。コロナ禍ではあるが、5類に移行したことから、数年ぶりに料理実習講座も取り入れ、講師、託児の面で地域の地区団体にお世話になり、楽しい講座が開催できたように思う。



塩崎先生の講演会



総社地区保健推進員による託児



おもちゃを作り、鳴らす様子



読み聞かせを楽しもう



親子で食べられるご飯の料理教室



総社保育園のクリスマス会

すくすく教室(クリスマスおはなし会)

(1) ねらい

- ①子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法等を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。
- ②地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるという見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。

(2) 対象等

対象：市内のこどもとその保護者

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/9 (土) 10:30~11:30	クリスマスおはなし会 (ランプのあかり、ともだちや、まどから☆おくりもの、おおきくおおきくおおきくなあれ、サンタクロースの5人兄弟)	実習 交流	総社読み聞かせの会 会長 阿久津 淳子 会員 5名	42

(4) 評価と反省

昨年に引き続き実施。休日開催のため父親や祖母も参加する様子が見られた。ホールを会場とし、事前受付無しの自由参加講座だったが、想定よりも多くの参加者が来館した。今年度からイベントが復活し始めているが、地域団体の活動の機会をさらに増やしていきたいとのことで、地区内団体とも積極的に連携していきたい。



楽しい読み聞かせ



パネルシアター

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法等を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。

②親同士や地域住民・保健推進員会等地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるという見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。

③各関係機関との連携を図る。

(2) 対象等

対象：地区保健推進員・募集による一般成人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/13 (水) 14:00～15:00	子どもが主役の子育て支援 ～子育ての楽しさを感じて もらおう～	実技 体験 交流	前橋市幼児教育センター 幼児教育アドバイザー 塩崎政江	32
2	11/8 (水) 14:30～15:30	子どもの心を豊かにする遊び 「丸折り紙」を体験しよう！	実技 体験 交流	子どものくらしを守る会 渡邊 博儀先生 渡邊 まさひ先生	32

(4) 評価と反省

コロナ禍の中で、事業としては数年間中止になっており、令和元年度以来の開催となった。託児協力団体である保健推進員会定例会の日に合わせて実施し、一般募集も行った。今回は、塩崎先生の講演会から子どもとの関わりや託児について学ぶ手法、渡邊先生の丸折り紙を通して子どもとの豊かな気持ちを育む手法の二本立てで開催し、参加者の方から「充実した時間となった。今後の託児に活かしたい」など、反響をいただいた。定例会に合わせての開催のため、時間通りに始められない会もあったが、保健推進員の方々のご協力もあり、無事に開催することができた。今後もスムーズな運営や内容を検討しながら子育て支援の方法を学ぶ機会としていきたい。



参加者との交流もあった講演



牛乳パック一つで遊びが広がる体験



丸折り紙の体験会



講演で子どもとの関わりを学ぶ

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 元総社・総社・清里合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：第一子（2～5か月児）とその母親

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	6/16 (金) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支援課 BPファシリ テーター	7
2	6/23 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7
3	6/30 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			6
4	7/7 (金) 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			7

(4) 評価と反省

昨年度より参加者が少なかったが、アットホームな雰囲気が進み、お母さん

同士で打ち解けて会話が弾んでいた。赤ちゃんと参加し、「外に出るきっかけになり、リフレッシュできた」「同じ月齢の赤ちゃんを持つお母さん同士で繋がりができ、悩みを共有できて嬉しかった」など、楽しかった様子が感じられた。講座により子どもとの関わり方にも変化が起き、良好な親子関係を築くきっかけ作りにもなった。

おはなし会支援

(1) ねらい

- ①地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるという見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。
- ②新型コロナ禍において地区内団体に活動の場を提供するとともに、親子のふれあいに関する知識の醸成を図る。

(2) 対象等

前橋市内の親子

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	4/22 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (はるのプレゼント、ぼうしをとったら、にひきのかえる、おなべおなべにえたかな)	実習 交流	総社読み聞かせの会	24
2	6/24 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (しずくのぼうけん、オレ、カエルやめるや、ふしぎなさかなやさん、あめのひのえんそく)	実習 交流	総社読み聞かせの会	29
3	7/22 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (せんたくかあちゃん、ぼくだんごむし、ともだちやもんなぼくら、かりゆしのうみ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	25
4	8/26 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (へいわってすてきだね、おひさまとおつきさまのけんか、かわいそうなぞう、てをつなぐ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	24
5	9/30 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (ありえない、だれのあしおと、ふしぎなヒーローやさん)	実習 交流	総社読み聞かせの会	20

6	11/25 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (大きなかぶ、いもほりバス、いもいもほりほり、ワタナベさん)	実習 交流	総社読み聞かせの会	29
7	1/27 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (へびくんの手袋でごあいさつ、まゆとおに、ぼくとお山と羊のセーターと、おににさらわれたねこ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	25
8	2/24 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (ふくろうのそめものや、かっぱのてがみ、せつぶん、いたいいたいのとんでゆけ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	19
9	3/23 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (はなになりました、ゆっくりがいっぱい、ランドセルがやってきた、ちょっとだけ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	29

(4) 評価と反省

総社読み聞かせの会が総社図書分館で行っていたおはなし会が、コロナ禍において実施できなくなり、会からの相談を受け、実施場所や備品の提供のための主催事業として、3年目の開催となった。自由参加の親子が毎回多数参加し、2、3歳の小さな子どもも熱心に読み聞かせを聞いていた。楽しいおはなしを真剣に聞いている子ども達からは、もっとたくさん本を読んでほしいと願いされることもあるようで、ねらいである地区内団体と子どもたちの交流ができていると思われる。講師である読み聞かせの会自体も、活動の幅をさらに広げていただけるよう、連携していきたい。

9 南橋公民館

南橋すくすく子育て教室

(1) ねらい

- ①同年齢の子どもを持つ親子同士の仲間づくりを図る。
- ②親子共々、楽しみながら学習の機会を与える。
- ③本事業を行うことで、親子の新たな発見や可能性を引き出す。
- ④母親の育児に対するストレスを少しでも解消し、よりよい親子関係を築くためのサポートを行う。

(2) 対象等

対象：市内在住の未就園児とその保護者

募集方法：公民館報・チラシ・HP・インスタグラム

延べ出席者数：親46人 子49人

前期・後期それぞれ連続受講での申込み方法をとった。

(3) 内容

【前期】

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	8/2(水) 10:30~12:00	☆浴衣☆美しい着こなし方 ~和の文化に触れる~	体験	飯島 百合	4
2	9/7(木) 10:30~11:30	子どもの心と能力を伸ばす 育児法	講義	親子アドバイザー 酒井 寿江 八高 美枝	6
3	9/14(木) 10:00~11:30	運動能力を上げるふれあい 遊び	ふれあい 体験	親子アドバイザー 酒井 寿江 八高 美枝	7
4	9/28(木) 10:00~12:00	きらきら笑顔で親子あそび 子どもの”育ち”に合わせた 関わりかた	ふれあい 体験	前橋市 こども支援課	7

【後期】

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	12/15(金) 10:30~12:00	おやこでリトミック	ふれあい 体験	井上 貴美枝 富澤 真由美	12
2	1/17(水) 10:30~11:30	ベビーと一緒に！ ママビクス	ふれあい 体験	フィットネス インストラクター 長野 ともえ	10
3	1/26(金) 10:30~11:30	読み聞かせでひろがる 「絵本」の魅力	講義	群馬医療福祉大学 田中 浩之	13
4	2/7(水) 10:30~11:30	リラックスヨガ (託児つき)	体験	フィットネス インストラクター 長野 ともえ	11
5	2/23(金・祝) 10:30~12:00	家族でふれあい遊び& 作ってみようバルーンア ート	ふれあい 体験	井上 貴美枝 富澤 真由美	14

(4) 評価と反省

着付け講座では、浴衣を綺麗に着こなすだけでなく、着物の文化的背景などの話しも聞く事ができ、和の文化に触れる経験ができた。

また、前期・後期と続けて参加してくれた親子や、講師が南橋公民館で主催する育児サークルに興味を持つ方もおり、主催事業を通して地域とのつながりができ、外へ出るきっかけ作りになっていると感じる。

引き続き安全に配慮しながら親子・地域・文化交流を深める講座を開催していきたい。



浴衣の着付けの練習



ベビーと一緒にママビクス

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 南橋・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和4年11月11日～令和5年3月10日生まれ）を持つ母親とその子16組

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	5/10(水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループワーク	子育て支援課 BPファシリテーター	12
2	5/17(水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			11

3	5/24(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			11
4	5/31(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			10

(4) 反省と評価

芳賀公民館を会場として開催された今年度のB.Pであるが、参加者からは「赤ちゃんとの生活を見直すいい機会になった」「外に出るきっかけになってうれしい」などの意見があった。母親の負担になりすぎない範囲で、B.P講座を日々の生活に取り入れられると良いと思う。

4回の講座で参加者同士の仲を深められたようで、『B.P』として自主グループ活動を継続している。

子育て支援講座

(1) ねらい

育児支援に必要な知識や技術を習得し、地域での子育て支援を担う人材を育成、その体制を強化する。また、子育て世代を支援する託児ボランティアの資質を高め、その効果を一層充実させることを目的とする。

(2) 対象等

対象：南橘地区保健推進員会、及び南橘ボランティアの会及び一般の市民を対象に実施。

(3) 内容

回	月日時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/10(水) 13:30~14:30	幼児期に大切なこと	講義	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 横坂好枝	60

(4) 反省と評価

実例を元に、スライドや写真を通して幼児との関わり方をお話ししていただいた。幼児期における周りとの関わりが将来大きな影響を及ぼすということで、幼児と接点の多い受講生はみな真剣に聞き入っていた。

講座の最後に設けた質疑応答も活発に行われ、参加者からは「もう少し長い時間聞いていたかった。」「もっと早く知りたかった、ということがたくさんあった。とてもためになった。」などの感想をいただいた。



幼児期に大切なこと

10 清里公民館

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 元総社・総社・清里合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

(2) 対象等

対象：第一子（2～5か月児）とその母親

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	6/16 (金) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支援課 BPファシリ テーター	7
2	6/23 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7
3	6/30 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			6

4	7/7 (金) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			7
---	------------------------	---	--	--	---

(4) 評価と反省

参加親子が7組と少なめであったが、参加者同士が交流しやすい人数となった印象であった。今回も清里公民館で参加者によりグループ化することができ、BPでつながった母親同士の輪を継続する成果が得られ、非常に有意義な講座となった。

また、3館合同開催により共同し、事務分担や受付、実費徴収などスムーズに運営できた。

清里のびのび親子教室

(1) ねらい

- ①子育てに必要な情報提供を行い、親の育児能力を高める。
- ②父親も参加できる機会を設け、家族ぐるみでの体験を通して、よりコミュニケーションを深める機会とする。
- ③講座に参加することで、子育ての不安やストレスを軽減する機会とする。

(2) 対象等

対象：第1・2回 歩き始め以上の未就園児とその家族12組
第3回 歩き始めまでの幼児をもつ母親12名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/2 (水) 10:30~11:30	親子で楽しむ運動あそび	講義 実習	共愛学園前橋国際大学短期大学部 准教授 永井真紀 先生	8
2	8/5 (土) 10:30~11:30	親子でリトミック	実習	リトミック講師 飯塚一美	8
3	8/8 (火) 10:30~11:30	ピラティスでリフレッシュ	実習	ピラティスインストラクター 峰岸圭衣／託児協力団体＝清里地区民生児童委員協議会、清里地区保健推進員会、清里ボランティア会	8

(4) 評価と反省

第1回ではインターンシップの高校生に受付や写真撮影していただき、スムーズに講座を進行できた。講師が用意したたくさんの遊具を使い自宅の限られたスペースでは使用できない様々な遊びを体験することができた。身体能力の未熟な子どもの運動のさせ方などを学ぶ良い機会となるとともに、親子遊びを通して親同士の交流の輪が広がる良い機会となった。

第2回では、父親も一緒に参加できる企画として土曜日の開催としたが、父親の参加者数は1名だけだった。母親以外の家族も一緒に参加し、子育ての担い手の母親への集中を分散する企画として、父親に絞らず、父母以外の家族も参加する企画としたい。土曜開催は平日に来られない方にとって有難いとの声をいただいたので、今後も企画したい。

第3回では、専門知識を持った講師に的確なエクササイズの指導を受け、参加者が自信をもって運動することができたことと共に、家庭に帰ってから少しずつでも継続して実践できれば、日々のリフレッシュにもつながり、大変有意義な講座になったと感じた。



音階に合わせて伸び縮み



ピラティスでリフレッシュ

夏休みの思い出作り講座

(1) ねらい

- ①学校や家庭では体験し難い講座を夏休み期間に実施し、参加者家族に貴重な思い出となる場を提供する。
- ②親子が共に学び、楽しむ時間を共有することで、家庭内でのコミュニケーションを促進させる。
- ③小学生の子を持つ保護者が交流し、地域での仲間づくりに繋げる機会とする。家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。

(2) 対象等

第1回：小学生の親子 12組 (ご家族同伴可)

第2回：小学生の親子 10組 (20名) (ご家族同伴可)

(3) 内容

回	講座名・日時	学習内容	講師	組数
1	8/6 (日) 18:00~20:00	アロマキャンドルを作って写真を撮ろう	NPO教育支援協会 北関東 正木典子	11
2	8/19 (土) 10:00~12:00	キッズエンジニア自動車整備体験・クラフトカーづくり講座	群馬トヨペット	10

(4) 評価と反省

アロマキャンドル講座では、夜間の講座ということもあり、照明を間引き、点灯・消灯しながら調整したが、ダウンライト以外全消灯しても良かったかも知れない。外目から見ていると、蝋の固まる微妙なタイミングに不安を感じたが、参加者は概ね楽しみながら体験していたようだった。工程によって慌ただしい場面もあり、参加者数を減らした方が良かったのか、もう少し、すり合わせを綿密にした方が良いと感じた。

キッズエンジニア講座は、講師陣の人数が多く、経験も熟練しており、安心して講座を任せられた。参加者の親子共々集中力も持続し満足度の高い講座となった。隔年など継続して依頼する価値があると思う。



アロマオイルを溶かした蝋に混ぜる



タイヤの取り付け体験

寝相アート写真を撮ろう！

(1) ねらい

- ①家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。
- ②事業を通じて、地区公民館を身近な存在として感じてもらう機会とする。
- ③ライフステージに応じた記念写真を残し、家族の充実したコミュニケーションの機会を提供する。

(2) 対象等

対象：歩き始める前までの乳幼児とその保護者 6組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	11/29(水) 10:00~12:00	寝相アート写真を撮ろう!	実技	寝相アート作家 みやざわりょうこ	6

(4) 評価と反省

昨年度も開催し好評だった講座を、今年度も入れ替え制で実施した。講座当日、キャンセル枠があるか2件の問い合わせがあった。母同士が、たまたま同窓生と一緒に撮影し、図らずも同窓生同士の交流を提供できた。乳幼児の記念写真を残すことは、子を持つ親の要望として、今後も需要があると思われるので、継続していきたい。



三世代で参加



たまたま母親同士が同級生と一緒に撮影

おくちのおはなし

(1) ねらい

- ①家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。
- ②乳幼児期の子どもの口腔ケアについて、子育てをする親に学びの場を提供する。
- ③事業を通じて、地区公民館を身近な存在として感じてもらう機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳までの子育てをしている父母 12組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	2/24(土) 10:30~11:30	むし歯から歯を守るためのお話や歯並びのお話についての講演や質疑応答	講義	スマイルきつずデンタルケア新前橋歯科医院 歯科衛生士 田口 真由美 栄養士 佐藤 美月/託児協力団体 =清里地区民生児童委員協議会、清里地区保健推進員会、清里ボランティア会	6

(4) 評価と反省

令和4年度にベビープログラムから派生した子育て学習グループ「群馬ママ友会」による発案を採用した珍しい形での共同実施となった。子育て世代目線の講座内容は、受講者が日頃悩んでいる内容に合致し、講義に臨む受講者が非常に真剣に聴講したり、メモを取ったりと、これまでにない積極的な様子が窺えた。必要課題を意欲的に満たすことのできた充実した講座となったと感じられた。



群馬ママ友会代表者から講座の趣旨や講師の紹介



栄養士の先生からも個別にアドバイス

1 1 永明公民館

永明公民館子育て・親子支援講座「親子あそび」

(1) ねらい

父親も子育てに参加しやすくなるように、週末に子育て世代が楽しめる居場所の提供を図る。

(2) 概要

対象：未就学児とその保護者

会場：永明公民館 ホール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	6/17 (土) 10:30~11:30	親子あそび ・親子ふれあい遊び ・リズム遊び ・パネルシアター ・簡単工作	実技	ぐんまこどもの国児童会館移動児童館 (プレーバス巡回) 職員：源後、須永	26 (11組)

(4) 評価と反省

この講座内容は、当初「人形劇がやってくる！」を計画していたが、講師側の事情で開催直前に講師派遣が中止となり、急遽プログラムを変更し開催

となった。申込者には、講座内容の変更等を連絡したうえ、あらためて参加の意思確認を行った。なお、「人形劇」は、9月以降に開催延期となった。

プログラム内容について、参加者の年齢に適した内容に講師が調整をした。父母で参加した家族の父子がふれあい遊びを楽しんでいる様子がとても印象的であり、実施後のアンケート結果では、充実していたと満足度が高かったもので、当初の目的を果たせていたように思う。

申込方法は、二次元コードの入力フォームから行ったが、内容変更の連絡は、電話で迅速に対応した。事業運営時の様々な対処方法として、今後につながる経験となった。



つくってあそぼう！かんたん実験工作

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②子どもの好奇心を育む。
- ③地域の大学と連携し講座を開催する。
- ④休日に開催し、就労者の参加機会を確保する。

(2) 概要

対象：3才から6才の子どもとその保護者 14組

出席者：33人

会場：永明公民館ホール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/9(土) 10:00~12:00	身近にある紙コップなどで工作する。	講義 実技	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 教授 天宮陽子	33

(4) 評価と反省

就労者が参加しやすいよう土曜日の開催とした。その効果もあり、参加した保護者の半数が父親であったため、子育てに積極的、また協力的であることが

伺えた。子育て講座は、保護者の共働きにより平日開催の参加が難しいため、今後も休日開催が望ましいと考える。講師のコンセプトが「親子ふれあい」であり、今回の講座では親子一緒に工作や表現あそびに取り組んだ。

工作が完成した後、親子及び参加者全員で協力しながら実験を行い、和気あいあいの中、検証することができた。同年代の子ども達はもちろん、子育て世代の保護者にとっても有意義な交流の場となった。

表現あそびでは、まずお花紙を手で細長く切り、その時に出る音を体感した。その後、細長く切ったお花紙を1ヶ所に集めうちわで扇ぎ、まるで噴水を想像させる情景に子ども達及び保護者から大きな歓声が上がった。また、細長く切ったお花紙もゴミにせず、小さく丸めてビニール袋に入れ、各々のカラーボールを作った。楽しく遊びながら片付けさせる講師の考えに敬服した。

親子でふれあい、一緒に考えながら作業する機会を提供することができ、参加者の本講座に対する反応は大変良好であった。子育てに関する知識を習得するための座学も重要だが、今後も親子で一緒に作業できる講座を開催していきたい。



講座の様子

災害にも役立つ！親子アウトドア料理

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②災害対策の意識を育む。
- ③地域の大学と連携し講座を開催する。
- ④休日に開催し、就労者が参加できる機会を提供する。

(2) 概要

対象：年中から小学6年生の子どもとその保護者 7組

出席者：21人

会場：永明公民館中庭、第1会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/22 (日) 10:00~12:10	親子でアウトドア料理 ハンバーガー、パスタなど	講義 実技	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 大崎 香苗	21

(4) 評価と反省

就労者が参加しやすいように日曜日の開催とした。その効果もあり、父親の参加が7組中5組と多く、子育てに積極的、また協力的であることが伺えた。

子育て講座は、保護者の共働きにより平日開催の参加が難しいため、今後も休日開催が望ましいと考える。

秋晴れの中、実施することができたが、当日は風が強く若干肌寒かった。そのため風の影響で実習に支障を来さぬよう事前に風除け(厚紙で作成したもの及びガスコンロの周りにアルミホイルを設置したもの)を用意した。風がなければスムーズに実習を進めることができたと思うが、気温的には熱中症の心配もないことから実施時期としては最良であったと思う。

講師から屋外での料理経験の有無などに関する事前アンケートを基に講義を実施した。今回のような講座で楽しみながらアウトドア料理を体験することで災害時のいざという時に役立つことなどお話いただいた。実習では親子で楽しそうに料理をしている姿が見られ、パスタの味は何にするのかなど親子で話し合っていて決めており、親子のコミュニケーションの良い機会にもなった。

参加者からは「楽しい、料理もすごくおいしい」との声が多数あった。料理はどれも簡単に作れるものであるため、メスティンを購入し自宅でも作ってみたいという参加者もいた。

親子でふれあい、一緒に楽しみながら料理する機会を提供することができ、参加者の本講座に対する反応は大変良好であった。子育てに関する知識を習得するための座学も重要であるが、今後も親子で一緒に作業できる講座を開催していきたい。本講座を体験したことはいざという時に役立つ知識を身につけ、また親子で防災に対する意識向上が図れたと考える。



講座の様子

永明公民館子育て・親子支援講座「人形劇がやってくる！」

(1) ねらい

- ①メディア映像等を見慣れている世代が、実演する人形の動きや声などを直接鑑賞して、映像との違いなどを感じ取る。実演から伝わる感動を味わう機会とする。
- ②父親も子育てに参加しやすくなるように、週末に子育て世代が楽しめる居場所の提供を図る。

(2) 概要

対象：未就学児とその保護者

会場：永明公民館 ホール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/9 (土) 10:30~11:30	人形劇「かちかち山」 ・手遊び ・パネルシアター ・ハンドベル鑑賞	鑑賞 実技	人形劇団「ぽっぷこ〜ん」 (ぐんまこどもの国 児童会館移動児童館 「鑑賞事業」)	60 (24組)

(4) 評価と反省

子どもたちが知っている手遊びから始まり、クイズや体を動かしながら楽しめる遊びなど、子ども達の興味が引きつけられていた。参加者アンケートには、人形劇の感想として、『「かちかち山」が怖かった』と感想があった(5歳女児)。狸が懲らしめられる場面など、目前で観られる人形劇の良さが子どもたちに伝わり、所期のねらいが達成されたものと考えた。

会場内は、子どもたちが劇を見やすいように、会場の前方をシート席、後方はイス席を設けた。4, 5歳位の子は、シートの最前列に座り、講師の問いかけに応えながら遊びに参加し、1, 2歳児は親子でシート後方やイス席から参加するなど、リラックスした態勢で楽しんでいた。

申込方法は、二次元コードから入力フォームにて受け付けたところ、募集開始日で先着定員を超えてしまった。入力フォームを利用する場合、24時間受付となるなど、問題点への認識が欠けていたものと課題が残った。

チラシ作成では、長期インターンシップ実習生(前橋国際大学)と協働で見やすい紙面づくりを学べたと思う。



トーンチャイムであそぼう！

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②楽器演奏の楽しさを知る。
- ③地域の大学と連携し講座を開催する。
- ④休日に開催し、就労者が参加できる機会を提供する。

(2) 概要

対象：年少から小学2年生までの子どもとその保護者 12組

出席者：26名

会場：永明公民館第1会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/16(土) 10:00~11:30	トーンチャイムを使った あそび、演奏	実技	共愛学園前橋国際大学 大嶋 果織	26

(4) 評価と反省

就労者が参加しやすいように土曜日の開催とした。当初の募集数を上回る応募があったため、講師のご厚意により参加枠を増やして実施した。父親の参加も見られ、子育てに積極的、また協力的であることが伺えた。

小さなお子さんが対象であるため、音符が分からなくても演奏できるよう、トーンチャイムに色のシールを貼り付け講師が用意した模造紙の色を見ながら演奏し、綺麗な音を奏でていた。

また、子ども達が演奏している時に親が色紙を持ってトーンチャイムを鳴らすタイミングを教え、また親が演奏している時は、子ども達が大きな声で歌うなど親子共に楽しむ様子が伺えた。親が頑張っている姿を普段見る機会も少ないと思われるため、小さな子ども達にとっても良い経験が出来たのではないかと思う。

ただし、講座中にトーンチャイムを落としてしまうお子さんもおり、楽器が

壊れないか心配する場面が多くあったため、床にマットを敷くなどの対策も必要だと感じた。

親子でふれあい、一緒に楽しみながら楽器演奏する機会を提供することができ、参加者の本講座に対する反応は大変良好であった。子育てに関する知識を習得するための座学も重要であるが、今後も親子で一緒に作業できる講座を開催していきたい。



講座の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:愛称 BP) 桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親を対象に開催し、ゆったりとした母子の交流と乳児の子育て期に必要な情報交換や知識について学ぶ場とする。
- ②同じ月齢期の乳児とその母親を取り巻く不安や喜びを共有し、母として子どもの成長を見守るこころを育む

(2) 概要

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和5年6月6日～10月

5日生まれ）を育てている母親とその子

延べ出席者数（全4回）：102人（51組）

開催場所：城南公民館 和室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/5 (火) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 BP フェ シリテーター	22 (11組)
2	12/12 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			26 (13組)

3	12/19 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			28 (14組)
4	12/26 (火) 10:00~12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			26 (13組)

(4) 評価と反省

周知方法は公民館報やチラシ等で行ったが、保健センターの「こんにちは赤ちゃん事業」等からの直接勧誘により申し込む方が多かった。

回を重ねる毎に母親の心境の変化がうかがえ、育児に対して前向きな感想が寄せられていた。毎回の交流タイムは、自由参加であったが、全員が参加し、育児の悩みや身近な情報を交換し、会話を弾ませていた。講座終了後、子育てグループとして公民館利用を勧めたところ、早速、次回の予定を、予約していた。今後も子の成長を支援出来る機会を検討したい。



講義の様子

おやこ茶道体験教室

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②日本の伝統文化を学ぶ。
- ③公民館利用団体を講師とし、学習成果の還元を図る。
- ④休日に開催し、就労者が参加できる機会を提供する。

(2) 概要

対象：小学1年生から6年生までの子どもと保護者 5組

会場：永明公民館和室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/27(土) 10:00~11:30	親子で茶道体験	実技	茶道部やよい会 (公民館利用グループ)	—

※永明公民館和室で実施予定だったが、申込者が少なく開催に至らないため『中止』とした。

12 城南公民館

城南おやこひろば

(1) ねらい

①初めての子育てをする母親を対象に開催し、悩みや不安を共有し、子育てに必要な情報交換や、安心・安全な場の中での親同士のコミュニティ作りを支援する。

②親子が触れ合う場を提供し、子育てに必要なヒントを学ぶ。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の就園前の幼児と保護者6組

*連続講座

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	R6/1/23(火) 10:00~12:00	赤ちゃんの体幹運動 ～赤ちゃんの発達を サポート～	講義 実習	Petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	10人
2	1/30(火) 10:00~12:00	手形・足型で作品づくり ～親子のふれあい遊び と、子どもの成長で素 敵な作品づくりを～	講義 実習	Petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	12人

(4) 評価と反省

周知方法は公民館報やチラシ等で行った。赤ちゃんと一緒にママの体操にもなっている様でした。始めは真剣な表情で有ったが、徐々に楽しそうな表情へ変わっていくのが伺えた。体幹運動後に、講師の先生を交えて、情報交換の時間には、参加者同志で家での様子などが話されていた。先生への質問では、とても参考になり好評でした。

2回目の講座では、前回の運動を家でもやっているとの声を多くいただいた。

日中親子で過ごす時間が多い中で、母親が集中してモノ作りを楽しめる時間を提供出来たと思う。受講中の子どもの様子は、職員2名で見守っていたが、ボランティアの方をお願いしてもいいと感じた。



体幹運動様子



赤ちゃんどうしのご挨拶



手形・足型で作品づくり様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:愛称 BP) 桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親を対象に開催し、ゆったりとした母子の交流と乳児の子育て期に必要な情報交換や知識について学ぶ場とする。
- ②同じ月齢期の乳児とその母親を取り巻く不安や喜びを共有し、母として子どもの成長を見守るころを育む

(2) 概要

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和5年6月6日～10月5日生まれ）を育てている母親とその子

延べ出席者数：1回目11組、2回目13組、3回目14組、4回目13組
（全4回）

開催場所：城南公民館 和室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	12/5 (火) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 BP ファ シリテーター	1回目
2	12/12 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			11組
3	12/19 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			2回目 13組
4	12/26 (火) 10:00～12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			3回目 14組 4回目 13組

(4) 評価と反省

周知方法は公民館報やチラシ等で行ったが、保健センターの「こんにちは赤ちゃん事業」等からの直接勧誘により申し込む方が多かった。

回を重ねる毎に母親の心境の変化がうかがえ、育児に対して前向きな感想が寄せられていた。毎回の交流タイムは、自由参加で有ったが、全員参加し、育児の悩みや身近な情報を交換し、会話を弾ませていた。講座終了後、子育てグループとして公民館利用を勧めたところ、早速、次回の予定を、予約していた。今後も子の成長を支援出来る機会を検討したい。



講義の様子

子育て支援講座

(1) ねらい

①地域の子育てに興味ある方を対象に、現在の子育て世代の支援に役立つ知識を学ぶ。

(2) 対象等

地域子育て支援者（保健推進員、地域ボランティア、民生委員等、子育て支援に興味ある方）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/21 (木) 10:00～11:30	子・孫にバルーンアート を作ってみよう	実習	城南地区主任児童委員 中澤 美弥子	10

(4) 評価と反省

・はじめは、風船を膨らませるのも怖がっていましたが、直ぐになれたのか、参加者みんな和気あいあい、夢中で作っているのが印象的でした。作りながら、今度孫に作ってやろうとか、サロンでも良いかなとか、色々な会話が聞こえてきました。

講習終了後は、孫の手助けができる様に学びました。今後の活動に活かしたい。

などと前向きな意見をいただきました。

終了後、作ったバルーンを公民館に来庁した子供にプレゼントした所、お母さん達に大好評で、講座に参加したかったとの声が聞こえてきました。



風船を膨らませる様子



割れない様に慎重にねじっています



お花を作っています！



完成！！

13 大胡公民館

ママたちのひろば

(1) ねらい

- ① 6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子が、講座をとおして子育ての知識や技術を学び、親子の交流を深める。
- ② 就学前の子どもを持つ親が講座をとおして子育てについて学び、交流を深め、教育の出発点である家庭教育力の向上を目指す。
- ③ 三館（大胡・宮城・粕川）合同講座開催により地域を超えて、親子の交流を図る。

(2) 対象等

対象：6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子8組（第1・2回）

就学前の子を持つ親子8組（第3回）

周知方法：公民館報、チラシ等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	6/28 (水) 10:00~12:00	赤ちゃん体幹運動	実習	坂本 ゆきえ	12人
2	7/11 (火) 10:00~12:00	手形・足形アートを楽しもう	実習	坂本 ゆきえ	12人
3	8/8 (火) 10:00~12:00	親子で一緒にリトミック (三館合同)	実習	飯塚 一美	18人

(4) 評価と反省

第1回目では、始めに自己紹介をすると、すぐにお母さん同士が打ち解け合い、あっという間に楽しい時間となった。講師の先生が様々な内容の遊びを取り入れてくださり、赤ちゃんも伸び伸びと、お母さんもいい運動になったようである。また、お母さん同士のお話会では、日頃の育児の悩みや、お薦めの育児用品、赤ちゃん連れで行けるお店などの情報交換をされ、充実した時間となった。

第2回目では、赤ちゃんの手形・足形を取り、色紙づくりを行った。お母さんたちは世間話をしながら、また、お子さんの顔が近くで見える距離であったため、安心して出来たように思える。思い出に残る作品を手を全員から楽しかったとの声を頂いた。

第3回目では、大胡、宮城、粕川の三館合同により開催した。毎年恒例になっているリトミック講座では、先生のピアノに合わせたリズム遊び、音階体操、手遊びなど様々な内容により会場は賑やかに、そして親子は楽

しむことができた。夏休み中ということもあり、兄弟姉妹の参加があった。「リズム遊びは、心と体の成長（表現力や瞬発力）につながるため、家庭でも沢山取り入れるとよい」とお話をいただき、充実した時間となった。



赤ちゃん体幹運動の様子



手形・足形アートを楽しむ様子

3館合同「親子でリトミック」

子育て・親子支援事業(子育て支援講座)

(1) ねらい

- ①家庭教育及び子育て支援に関する専門的な理論や技法について研修を行い、地域で活躍できる人材を育成することを目的とする。
- ②保護者と保健推進員との地域の繋がりを形成する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳までの子と親、保健推進員、子育てに関心のある方

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/7(金) 10:00~11:00	きらきら笑顔で親子遊び	実習	こども支援課 田中保育士	14人

(4) 評価と反省

夏風邪が流行っている影響で、当日3組の親子が欠席となってしまう、親子4組9人と、保健推進員5人の計14人の参加となった。子どもの年

齢に幅はあったが、様々な内容の親子ふれあい遊びを楽しむことができた。参加者からは「今日やったことを家でもやってみたい」との声をいただいた。コロナの影響で、数年間、託児付きの講座が開催できなかったため、保健推進員さんの参加により、今後の地域の繋がりになっていくと良いと感じる。



保健推進員さんと一緒にふれあい遊び

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”(ベビープログラム:略称BP) 大胡・宮城・粕川公民館合同

(1) ねらい

- ①第1子(2～5ヶ月)の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し、前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 対象等

対象:第1子(令和5年8月15日～12月14日生まれ)とその母親8組。

(3) 内容 市子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師(敬称略)	組数
1	2/14(水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子ども 支援課 (BPファシ リテーター) 池田保健師 根岸保健師	5組 10人
2	2/21(水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			5組 10人

3	2/28(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			6組 12人
4	3/6(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に 赤ちゃんも大切に			6組 12人

(4) 評価と反省

大胡公民館を会場に、大胡・宮城・粕川の3館合同で例年通り開催した。

少人数だったこともあり、お互いの日常や悩み事などをじっくり話し合えているようだった。回を増すごとに、参加者同士が気軽に話せる雰囲気になり、特に終了時間までの約30分間の交流タイムでは延長が必要なほど話が弾んでいた。

新しい知り合いを作る機会が減り、孤独を抱える母親が増えているかもしれないという話もあったことから、今回の出会いを仲間づくりのきっかけにしてもらえると嬉しい。

全4回にわたり、テキスト、DVD 視聴、グループワークにより学び、また、月齢の近い他のお母さんたちと話す機会となり、大変有意義な時間となったのではと思う。



バランスシートを使った話し合い



親子のふれあいタイム

14 宮城公民館

めばえ学級

(1) ねらい

- ①親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。
- ②同年齢の子を持つ保護者が交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで子育ての不安軽減を図る。

③本事業の効果をより高めるため近隣公民館と連携して取り組む。

(2) 概 要

対象：1歳6か月～3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、ホームページ、ポスター、チラシ

在籍数 1組 延べ出席者数 3人

(3) 内 容

(敬称略)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/13 (木) 10:00～11:30	楽しく遊ぼう ぬり絵・工作・手遊び・体操等	実技 工作他	第1・3回は 毎回3人 田中 房江 横山 幸代 大崎 知子	中止
2	8/8 (火) 10:00～12:00	親子リトミック リズムにあわせて動いてみよう 三館合同 (大胡・宮城・粕川)	実技		7組 18
3	9/7 (木) 10:00～11:30	楽しく遊ぼう ぬり絵・工作・手遊び・体操等	実技 工作他	第2回 飯塚 一美	中止

(4) 評価と反省

参加申し込み者がいなかったため、第2回(三館合同親子リトミック)以外の講座を中止とした。

第2回目の親子リトミックの再募集を行い、1組の申込みがあった。年齢層に幅があったが、どの年代の子も参加し楽しめる内容で、終了のあいさつ後も名残惜しそうな様子だった。様々な地域から参加されていたが、保護者同士の交流も行われていた。

地区の対象者は減少しているが周知方法や講座回数、開催形態などを検討し、次年度の講座を考えたい。

ひよこ学級

(1) ねらい

- ①親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。
- ②リフレッシュできる時間を提供する。
- ③同年齢の子を持つ保護者同士や保健推進員と交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで子育ての不安軽減を図る。

(2) 概要

対象：1歳6か月未満児とその保護者

周知方法：公民館報、ホームページ、ポスター、チラシ

在籍数 6組 延べ出席者数 29人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	9/14(木) 10:00～11:30	「離乳食のお話とふれあい遊び」	講義 実技	こども支援課 主任管理栄養士 保育士	5組 11
2	10/17(火) 10:00～12:00	「成長の記録にひと工夫」 楽しい遊び、手形足形アート	実技	petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	5組 12
3	11/21(火) 10:30～12:00	「幼児安全法講習会」 ・子どもに多い事故と予防について ・子どもの看病と手当のしかた 子育て支援講座共催	講義	日本赤十字社 群馬県支部 赤十字幼児安全 法指導員 川田 繁子	3組 6

(4) 評価と反省

1回目の離乳食のお話では、質問をしたり、講座終了後に個別相談をしている様子があり、育児の不安や悩みを解決できる内容になったのではと思う。

2回目の手形足形アート作品作りでは、今回地区の保健推進員の方々に託児を依頼したところ、集中して作成することができ、育児の合間の気分転換になった様子だった。

3回目の幼児安全法講習会は、子育て支援講座と共催とした。子どもをみながらの受講であったが、話に聴き入り、質問も出ていて関心の高さが窺えた。

愛称BP 親子の絆づくりプログラム赤ちゃんがきた！

(1) ねらい

- ①第一子（2～5か月）の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し、前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 概要

対象：市内在住の2か月～5か月の第一子とその母親

周知方法：公民館報・チラシ・ホームページ等

申込者 6組 延べ出席者数 44人

(3) 内容

市こども支援課。BP独自のテキストを使う参加型のプログラム。

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	2/14(水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	こども支援課 BPファシリテ ーター	5組 10
2	2/21(水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・自分も大切に 赤ちゃんも大切に			5組 10
3	2/28(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			6組 12
4	3/6(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に 赤ちゃんも大切に			6組 12

(4) 評価と反省

月齢の近い母親同士、悩みや不安を話しやすい雰囲気、講座を心待ちにしていたという感想もあった。参加者の満足度も高く、引き続き次年度も継続して開催し、情報交換や相談をし合える場の提供を図りたい。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。
- ②リフレッシュできる時間を提供する。
- ③同年齢の子を持つ保護者同士や保健推進員と交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで子育ての不安軽減を図る。

(2) 概要

未就学児の保護者、保健推進員、一般成人 6組
公民館報やポスター、チラシ、ホームページにて募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	11/21 (火) 10:30~12:00	「幼児安全法講習会」 ・子どもに多い事故と 予防について ・子どもの看病と手当 のしかた ひよこ学級3回目共催	講義	日本赤十字社 群馬県支部 赤十字幼児安全法 指導員 川田 繁子	6

(4) 評価と反省

今年度は、ひよこ学級の第3回と共催で開催した。

子育て支援講座に参加の方々も、講座中質問をしながら熱心に受講され、今後活かすことのできる内容であったと思う。

次年度も開催方法や内容を検討し、子育てをする際の参考となる講座にしていきたい。

15 粕川公民館

はぴまま子育て教室

(1) ねらい

- ①親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる。
- ②子育ての不安解消やリフレッシュの場とする。
- ③同年齢の子を持つ母親同士が交流することで、地域の中で子育てなかまを増やす。
- ④地区内で未就学児親子のための事業を実施している施設間が連携・協力することで、それぞれの参加者同士を繋げ、地域交流の輪を広げる。

(2) 対象等

対象：未就学児とその保護者5組程度 ※第1回のみ10組

周知方法：粕川公民館報、連携施設にチラシ配布、館内ポスター掲示

連携：粕川児童館、母親クラブ、子育てサロン、子育て支援センター、粕川保育所

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/9 (火) 10:30~12:00	スプレーボトルホルダーを作ろう ※粕川児童館共催、母親クラブ協力	実習	講師 大矢 宏美	10組 20

2	6/13 (火) 10:00~11:45	親子で楽しく運動遊び・子育て講話 ※子育てサロン共催	実技	講師 今井 寿美枝	3組 6
3	7/11 (火) 10:15~11:15	子育て支援センターの夏祭りに参加しよう！ ※粕川保育所子育て支援センター「さくらんぼクラブ」、子育てサロン共催	実技	保育所職員 民生児童委員 公民館職員	17組 37
4	8/8 (火) 10:00~12:00	リトミック ※大胡公民館、宮城公民館との合同事業、子育てサロン共催	実技	講師 飯塚 一美	7組 19
5	9/12 (火) 10:00~11:00	親子ヨガ ※子育てサロン共催	実技	講師 NPO教育支援協会北関東1名 アシスタント1名	3組 6
6	10/10 (火) 10:00~11:00	ほめトレ入門講座 ※子育てサロン共催	講座	講師 まえばし出前 講座 子ども支援課	7組 22
7	11/14 (火) 10:00~11:30	親子で作って楽しく遊ぼう +ミニ座談会 ※子育てサロン共催	実習	講師 高橋 陽子	2組 4

(4) 評価と反省

粕川地区内の各施設で子育て支援の事業を行っているが、参加者の固定や減少など、それぞれ共通の悩みが多いことが分かった。今年度は、地区の公的施設や子育て支援団体と協力して事業を実施することに、重点を置いた。

それぞれの参加者同士を繋げ、新たな交流の輪を作ることを目的として、参加者募集を行った。それぞれの施設で子育て支援等の活動を行っていることを知らなかった参加者への周知を行うことができ、参加者同士の交流の場を繋げることができたと思う。

共催する相手との打ち合わせで「公民館のねらい」と「連携先のねらい」をすり合わせて、お互いにとって良い形になる役割分担を整えなければならないことが重要である。



スプレーボトルホルダーを作ろう



親子で楽しく運動遊び・子育て講話



子育て支援センターの夏まつりに参加しよう



リトミック



親子ヨガ



ほめトレ入門



親子で作って楽しく遊ぼう＋ミニ座談会

夏休み親子料理教室

(1) ねらい

- ①親子が共に楽しみ、学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる。又、参加者同士の交流を図る。
- ②調理の技術と知識、道具の使い方などを学ぶ。
- ③食について関心を持ち、バランスの良い食事への理解を深める。

(2) 対象等

対象：地区内小学生とその保護者 8組

周知方法：地区内小学校にタブレット端末経由でチラシ配布、公民館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/19（日） 9：30～13：00	夏休み親子料理教室	実習	講師 粕川地区食生活改善推進員	2組 大人6 子供2 計8

(4) 評価と反省

本講座は粕川地区食生活改善推進員に講師を依頼して実施した。参加親子は2組で、期待していた申し込みが無かったことが残念である。参加者は、包丁を持つことが初めてという子もいて、真剣なまなざしで材料を切っている様子がとても印象に残り、自分たちで作った料理をほおぼる姿もほほえましく、実のある講座になった。参加者募集について、更に工夫が必要であると反省し、今後に活かしたい。



夏休み親子料理教室

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”（ベビープログラム：略称BP） 大胡・宮城・粕川公民館合同

(1) ねらい

- ①第一子（2～5ヶ月）の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。

- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し前向きに子育てに取り組む。
 ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和5年8月15日～12月14日生まれ）とその母親

在籍者数：8組

周知方法：粕川公民館報掲載、チラシを回覧、掲示

(3) 内容

市子育て支援課 BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容（予定）	学習方法	講師（敬称略）	組数
1	2/14(水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループワーク	前橋市こども支援課 （BPファシリテーター） 母子健康係 池田保健師 こども健診係 根岸保健師	5組 10人
2	2/21(水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な生活リズムを整える			5組 10人
3	2/28(水) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳児期の心の発達の大切さを知る			6組 12人
4	3/6(水) 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切に育児から学ぶ			6組 12人



第1回 新しい出会い



第2回 赤ちゃんのいる生活



第3回 遊びと心の発達



第4回 親になること

16 富士見公民館

おやこ教室 with little

(1) ねらい

- ①参加者同士の交流を図る。
- ②子どもとスキンシップ図り、学習内容の理解を深める。
- ③講座をとおり母親がリフレッシュする時間を持つ。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住のおおむね1歳半から3歳の子を持つ親子 先着16組
 在籍者数：6組 延出席者数：親12名 子11名 合計23名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	8/25(金) 10:00~11:30	きらきら笑顔で親子遊び	実習	子育て支援課 こども発達支援センター 保育士・保健師	2
2	9/1(金) 10:00~11:30	バルーンアートで楽しもう	実習	バルーン講師 岡本美由貴	2
3	9/8(金) 10:00~12:00	こどものほめ方しかり方	講義	群馬県幼児教育センター 保育アドバイザー 高橋 恵津子	2 託児
4	9/15(金) 10:00~12:00	エコクッキング【中止】	実習	エコ食楽部	0
5	9/20(水) 10:00~11:30	シャカシャカイニシャルキーホルダーを作ろう	実習	レジン認定講師 大矢 宏美	3
6	9/27(水) 10:00~12:00	親子で楽しくリトミック	実技	リトミック講師 飯塚 一美	3

※第3回の託児は富士見地区保健推進委員会が協力(第4回も託児の予定だったが、中止)

(4) 反省と評価

新型コロナウイルス感染症5類移行後の開催だったので、もう少し参加者が増えることを期待していたが、思った以上に少なかった。第4回は用事や体調不良等で参加者が0になってしまったため、急きょ中止した。講師には数日前の連絡でご迷惑をかけてしまい、申し訳なかった。また、昨年度講座を忘れて欠席だった方がいた反省を活かし、初回に講座の予定表の載ったカードを配り、参加したらシールやスタンプを押してもらい、毎回持参してもらった。

今回は久しぶりに託児をした。保健推進委員会で快く引き受けてくださり、ありがたかった。おかげで参加者は集中して講座に参加でき、ものすごく真剣に話を聞いていた。質問もたくさん出ていた。

参加者の中に普段仕事をしているが、講座の日は休んでいるという方がいた。参加者が少ない原因の1つに仕事をしている人が増えているということも考えられるので、来年度は土日の開催も検討したい。



きらきら笑顔で親子遊び



イニシャルキーホルダー

おやこ教室 with kids

(1) ねらい

本事業は、以下のねらいを持って開催いたします。

- ①参加者同士の交流を図る。
- ②子どもとスキンシップ図り、学習内容の理解を深める。
- ③講座をとおり、ものづくりの楽しさを知る。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の年中児から年長児の子を持つ親子 先着10組
(兄弟での参加の場合、上の子が小学2年生まで可)

在籍者数：9組 延出席者数：親21名 子26名 合計47名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	12/2(土) 10:00～12:00	陶芸教室(成形) ～粘土をこねて形を作ろう～	実習	うつわ工房 風うさぎ 酒井 晶子	7
2	12/16(土) 10:00～12:00	陶芸教室(色付け) ～色を選んでつけよう～	実習	うつわ工房 風うさぎ 酒井 晶子	5
3	1/13(土) 10:00～12:00	料理教室+ミニ食育講座～ス クーンを作ろう&陶芸作品を 受けとろう～	実習	日本食育インストラ クター・和食アドバ イザー 酒井 晶子	7

(4) 反省と評価

1・2回目で陶芸作品を作り、3回目で作品を受けとりに来ながら、料理教室とミニ食育講座を実施した。1回目では親子で湯呑みやお皿などを作り、2回目は作業効率を考え、前半後半の2班に分かれて実施し、釉薬をかけた。3回目は親子でスクーンを作った後、焼いている間に子どもに前に集まってもらい、講師から「もったいないばあさん」の大型絵本を読み聞かせしてもらった。子どもが興味を持つように問いかけながら、読んでくれ、子どもたちも楽しんでくれた。空いている時間を活用でき、内容的にも相乗効果が生まれた。3回を通して、受講者もとても満足してくれた。回によっては父親や夫婦での参加もありよかった。



陶芸教室(成形)



料理教室+ミニ食育講座

おやこ教室 with baby

(1) ねらい

本講座は、下記のねらいを持って開催いたします。

- ①乳児とのスキンシップを充分楽しみ、親子の交流を深める。
- ②講座をとおして心も身体もリフレッシュする。

(2) 対象等

対象：首が据わった子から1才未満の子を持つ親子 先着15組

在籍者数：15組 延出席者数：親21名 子20名 合計41名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	1/30(火) 10:00~11:00	親子であそぼう~心も体もリフレッシュ~+プチ相談	講義 実技	富士見保育所職員	12
2	2/5(月) 10:00~11:30	抱っこひもでフィットネス	実技	フィットネストレーナー 桑原 一美	8

(4) 反省と評価

第1回は地元の施設と連携したいと考え、富士見保育所に講師をお願いした。会場に保育所を利用させてもらうことも検討したが、打診したところ難しいということで公民館で実施し、講師にきていただく形にした。親子遊びを中心にパネルシアターなど盛りだくさんな内容で、受講者も満足してくれた。また、ご夫婦での参加もあり、有意義な時間になったと感想をいただいた。第2回は赤ちゃんを抱っこしてフィットネスを行った。赤ちゃんも抱っこで気持ち良く、お母さんも久しぶりに体を動かして喜んでくれていた。



親子であそぼう



抱っこひもでフィットネス

おやこ教室 English

(1) ねらい

本講座は、下記のねらいを持って開催いたします。

- ①子どもと親と一緒に英語に親しむきっかけを作る。
- ②公民館利用学習グループを講師にすることにより、学習の地域還元を図る。
- ③参加者同士の交流を持つ機会とする。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の就学前の子とその親 先着10組

在籍者数：5組 延出席者数：親5名 子6名 合計11名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	3/5(火) 10:00~11:00	英語の歌を一緒に歌おう！英語の絵本の読み聞かせも	講義	公民館利用学習グループ LEE 会長 横倉 昭英	5

(4) 反省と評価

以前アンケートで希望のあった英語の講座を実施するにあたり、学習の地域還元にもつながると考え、公民館利用学習グループに講師をお願いした。英語に興味を持ってもらうにはお母さんにも一緒に英語の歌を覚えてもらい、日常生活で親子で歌ってもらうのが一番という講師の意向もあり、英語の歌を歌いながら親子で覚えてもらうのを主に実施したが、期待した内容と違っていただけの方もいたらしく、アンケートでは高評価と低評価に分かれた。企画の難しさを感じた。



English (英語の歌をうたおう)



English (英語の絵本の読み聞かせ)

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP) 南橋・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子(令和4年1月1日～令和5年3月10日生まれ)を持つ母親とその子16組

在籍者数：12組 延出席者数：88名(全4回)

開催場所：芳賀公民館

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	5/10(水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループ ワーク	子育て支援課 BPファシリ テーター	12
2	5/17(水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			11
3	5/24(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			11
4	5/31(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			10

(4) 反省と評価

初回より、グループ形式で討議したり、終了後情報交換したり、交流を深めていた。今まで新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えてみた分、うれしい講座であったようだ。

子育て支援ボランティア講座

(1) ねらい

本講座は、下記のねらいを持って開催いたします。

- ① 地域の子育て支援への協力と充実を図る。
- ② 子育て支援者や保護者、祖父母が子どもとの良好な関係を築けるよう知識や技術を習得する。
- ③ 参加者同士の交流を図る。

(2) 対象等

対象：子育て支援に関心のある人、子育て中の親、祖父母、子育て・親子支援の託児者・子育てサロンの担い手（保健推進員、民生委員・主任児童委員）先着50名

在籍者数：11名 出席者数：9名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/15（金） 10:00~10:45	子どものけがや病気の予防と対応	講義	こども支援課 保健師	9

	3/15 (金) 10:45~11:30	子どもの遊び～手遊び・ 歌・おもちゃ～	講義	こども支援課 保育 士	
--	-------------------------	------------------------	----	----------------	--

(4) 反省と評価

館報や自治会回覧で募集したほか、子育て・親子支援の講座の託児をお願いしている地区保健推進委員会や子育てサロンの担い手である民生委員児童委員協議会に声掛けを行った。一般からは祖父母や学童保育に携わっている人などの参加があった。団体からは思ったほど参加がなく、残念だった。

参加者からは、実践的な内容だったこともあり、満足していただけたようだ。



子どものけがや病気の予防と対応



子どもの遊び～手遊び・歌・おもちゃ～